

令和元年度第3回安来市総合計画・総合戦略推進会議

令和元年 8 月 28 日 (水) 午後 1 時 30 分～午後 4 時
安来庁舎 2F 201 会議室

次 第

○開会の挨拶

会議成立報告

○議 事

(1) 安来市の現状分析

安来市の現状についてのデータ分析結果 (報告)

○使用資料: 安来市の現状分析

(2) 総合戦略の総合的評価

H27～H30 までの事業評価を基にした総括 (報告)

○使用資料: 安来市総合戦略の総合的評価 (2019.7)

(3) 市民アンケート結果について

昨年実施した安来市のアンケート結果について報告

○使用資料: 【安来市】市民アンケート (H30) 結果からみる特徴と課題

(4) 総合計画前期計画の評価と意見交換

施策の取組状況に関する担当各課より進捗度調査を基にした総括 (報告)

委員による意見交換

○使用資料

第2次安来市総合計画 (前期基本計画) の評価まとめ

担当各課による事業進捗度調査シート (1P 目左肩に第1章保健・医療・福祉分野と記載のあるもの)

○その他

○閉会の挨拶

安来市 の現状分析

目次

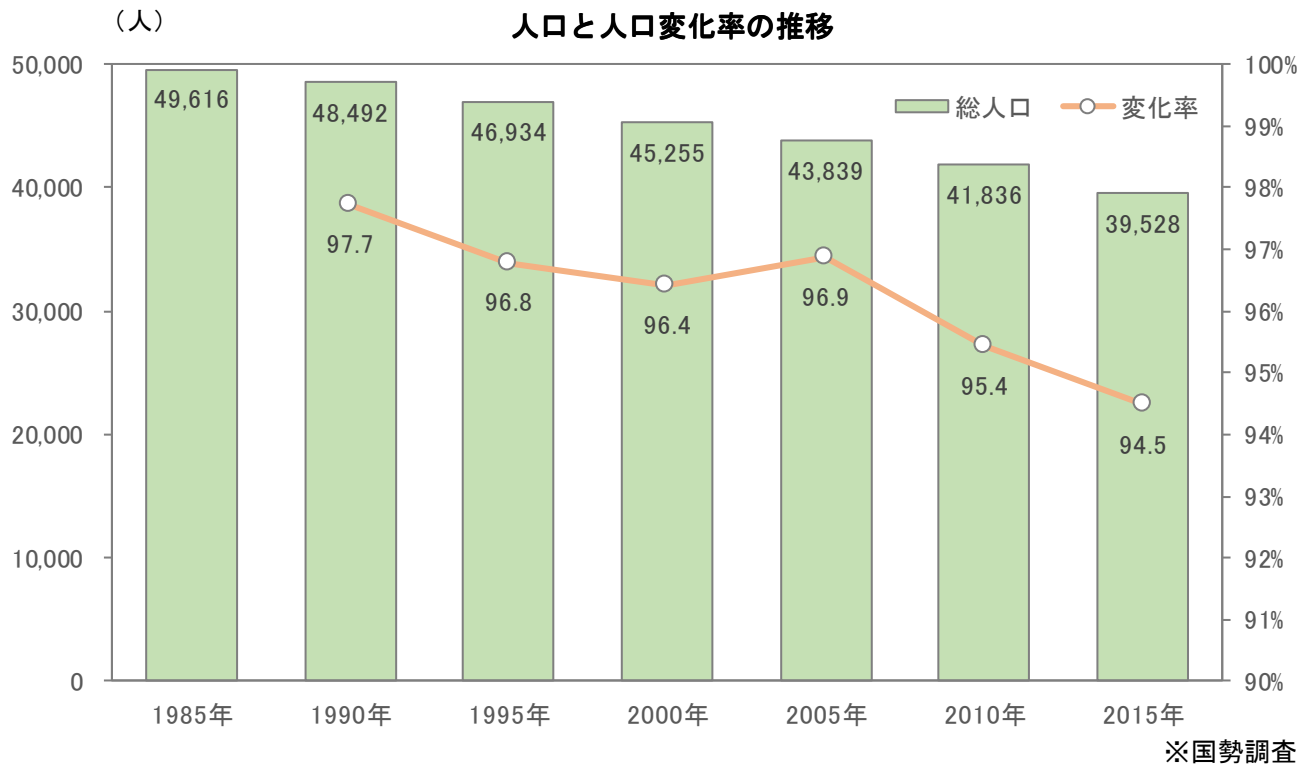
1. 人口の推移	1
①人口の推移	1
②人口の変化の都市比較	2
2. 性別・年齢別人口動向	3
①年齢3区分別人口の推移	3
②性別の人口の変化	4
3. 地域別の人口動向	5
【参考】市内の地区別の人口の変化（2010⇒2015）	8
4. 自然動態・社会動態の状況	9
①自然増減・社会増減	9
②出生・死亡	10
③合計特殊出生率	10
④転入・転出	11
⑤移動理由	11
⑥主な転入・転出地	12
⑦Uターン・Iターン	12
5. その他の分析	13
①産業の状況	13
②通勤・通学の状況	14

1. 人口の推移

①人口の推移

○安来市の総人口は減少傾向で推移しており、1985年の49,616人から、2015年には39,528人となり、30年間で約10,000人減少しています。

○人口変化率についても、2005年以降、減少しています。



(人)

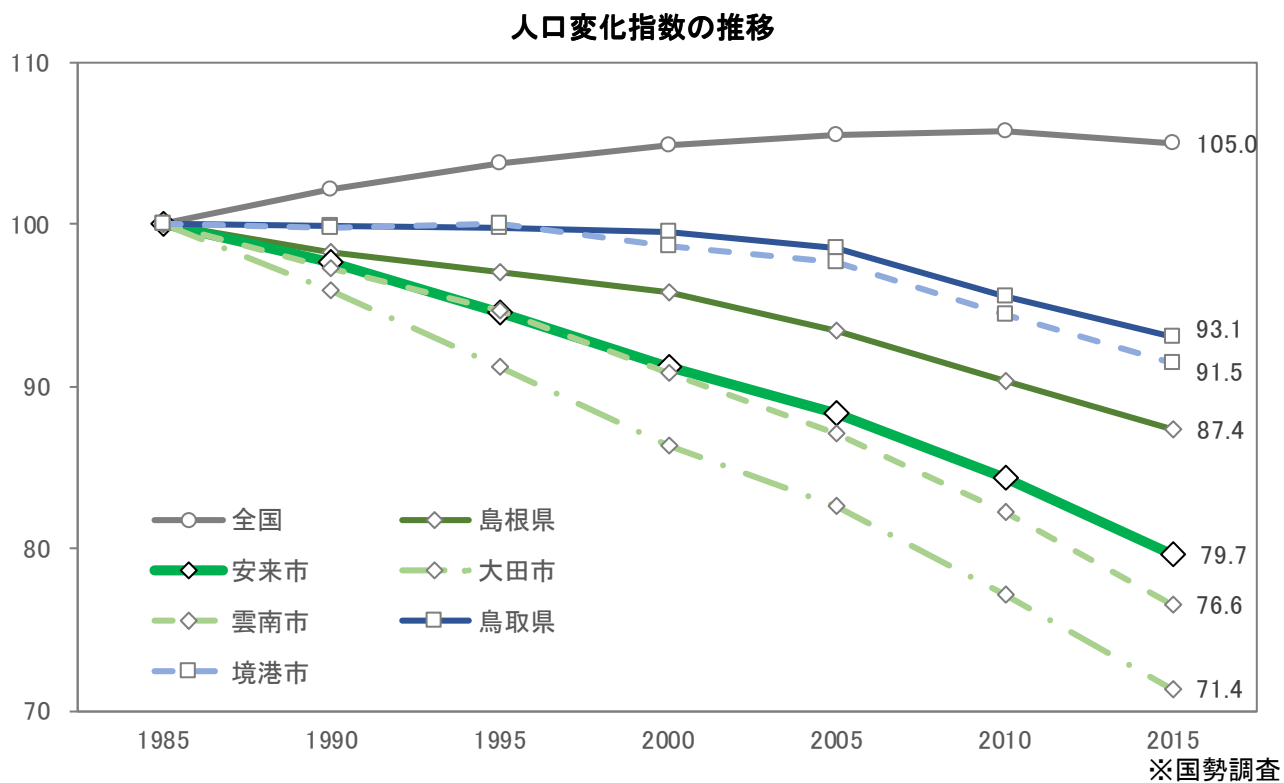
	1985年	1990年	1995年	2000年	2005年	2010年	2015年
総人口	49,616	48,492	46,934	45,255	43,839	41,836	39,528
年少人口 0～14歳	10,488 (21.1%)	8,876 (18.3%)	7,467 (15.9%)	6,434 (14.2%)	5,926 (13.5%)	5,438 (13.0%)	4,798 (12.1%)
生産年齢人口 15～64歳	31,516 (63.5%)	30,659 (63.2%)	29,233 (62.3%)	27,305 (60.3%)	25,539 (58.3%)	23,626 (56.5%)	20,593 (52.1%)
老年人口 65歳以上	7,605 (15.3%)	8,946 (18.4%)	10,231 (21.8%)	11,496 (25.4%)	12,374 (28.2%)	12,760 (30.5%)	13,816 (35.0%)
人口変化率	-	97.7%	96.8%	96.4%	96.9%	95.4%	94.5%

※国勢調査

②人口の変化の都市比較

○1985年の人口を100とした場合の変化指数をみると、安来市では1985年以降一貫して減少しており、2015年には79.7となっています。

○変化指数について、島根県、鳥取県の同等の人口規模の都市と比較すると、境港市が91.5と最も高く、大田市が71.4と最も低くなっています。



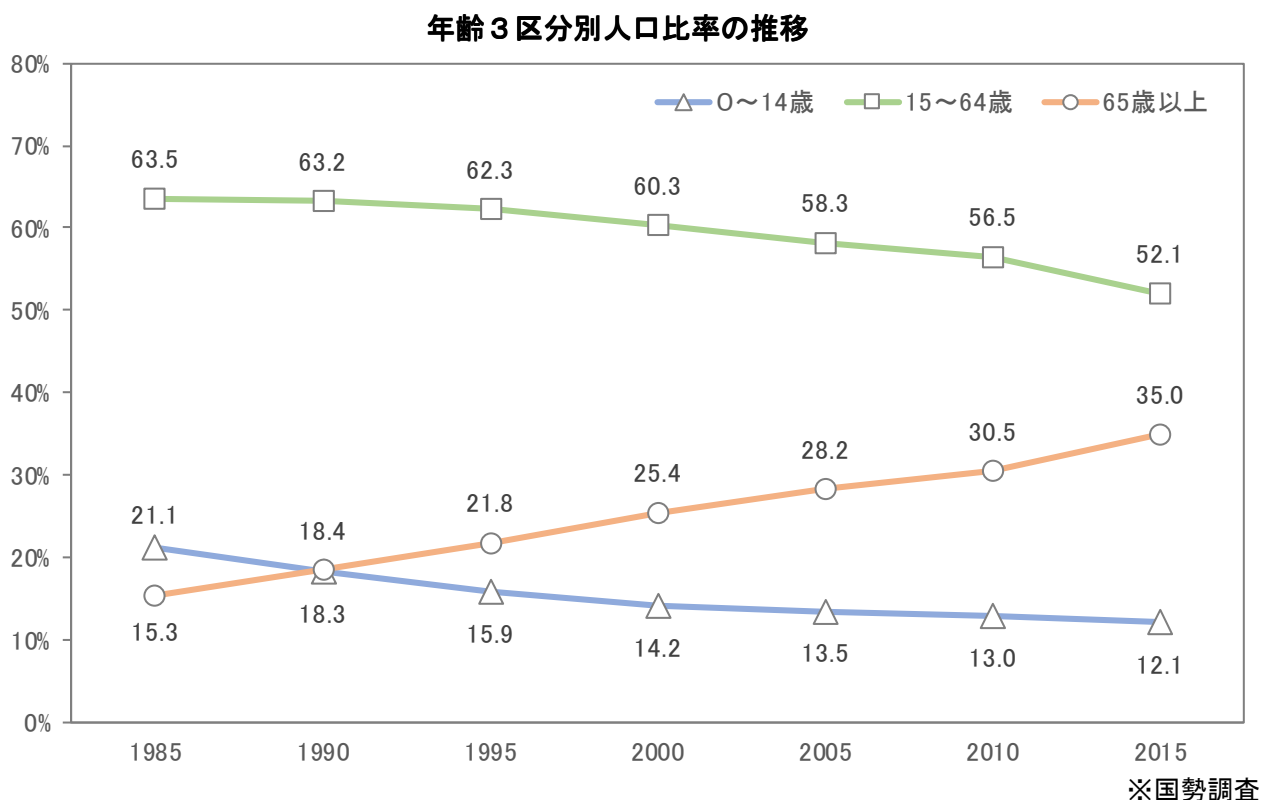
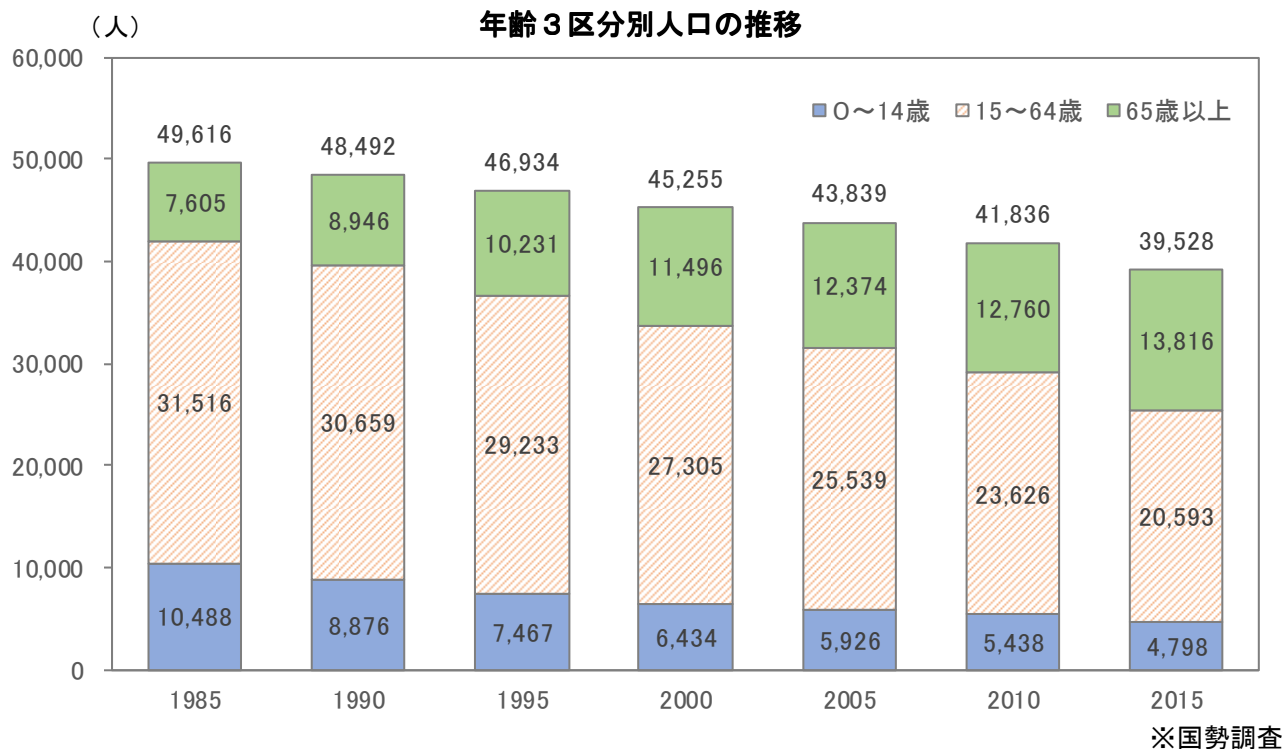
	1985年	1990年	1995年	2000年	2005年	2010年	2015年
全国	100	102.1	103.7	104.9	105.6	105.8	105.0
島根県	100	98.3	97.1	95.8	93.4	90.3	87.4
安来市	100	97.7	94.6	91.2	88.4	84.3	79.7
大田市	100	96.0	91.2	86.4	82.6	77.1	71.4
雲南市	100	97.3	94.6	90.9	87.1	82.2	76.6
鳥取県	100	100.0	99.8	99.6	98.5	95.6	93.1
境港市	100	99.8	100.0	98.6	97.6	94.4	91.5

※国勢調査

2. 性別・年齢別人口動向

①年齢3区分別人口の推移

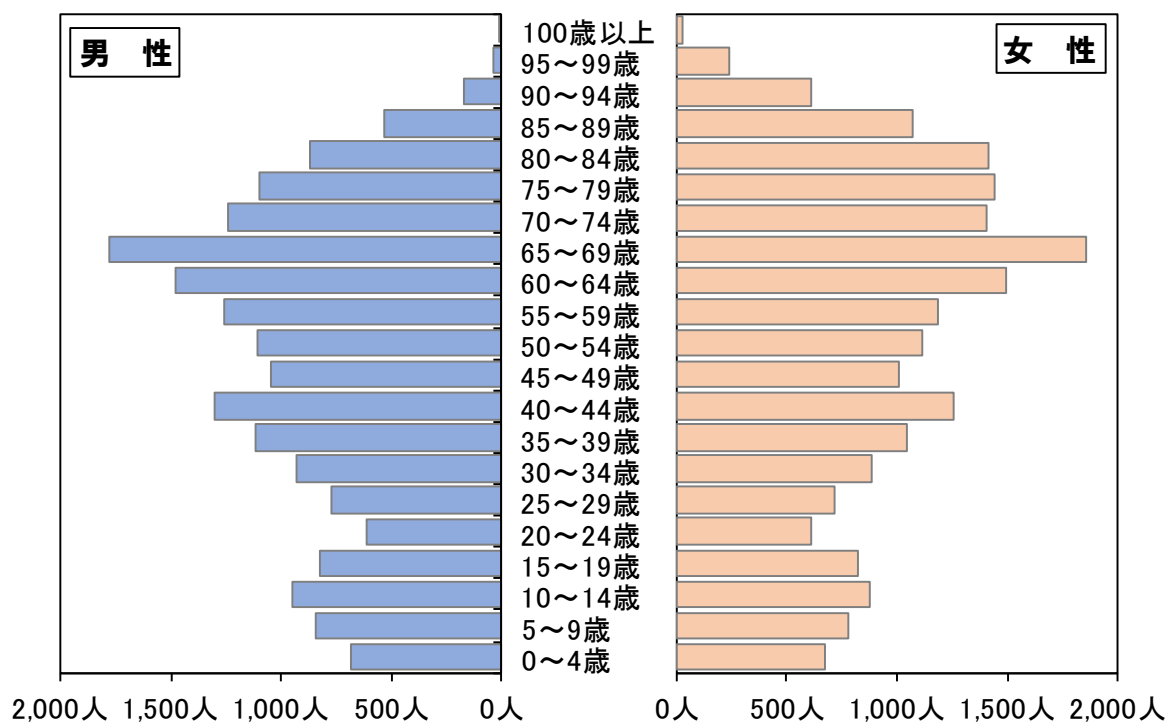
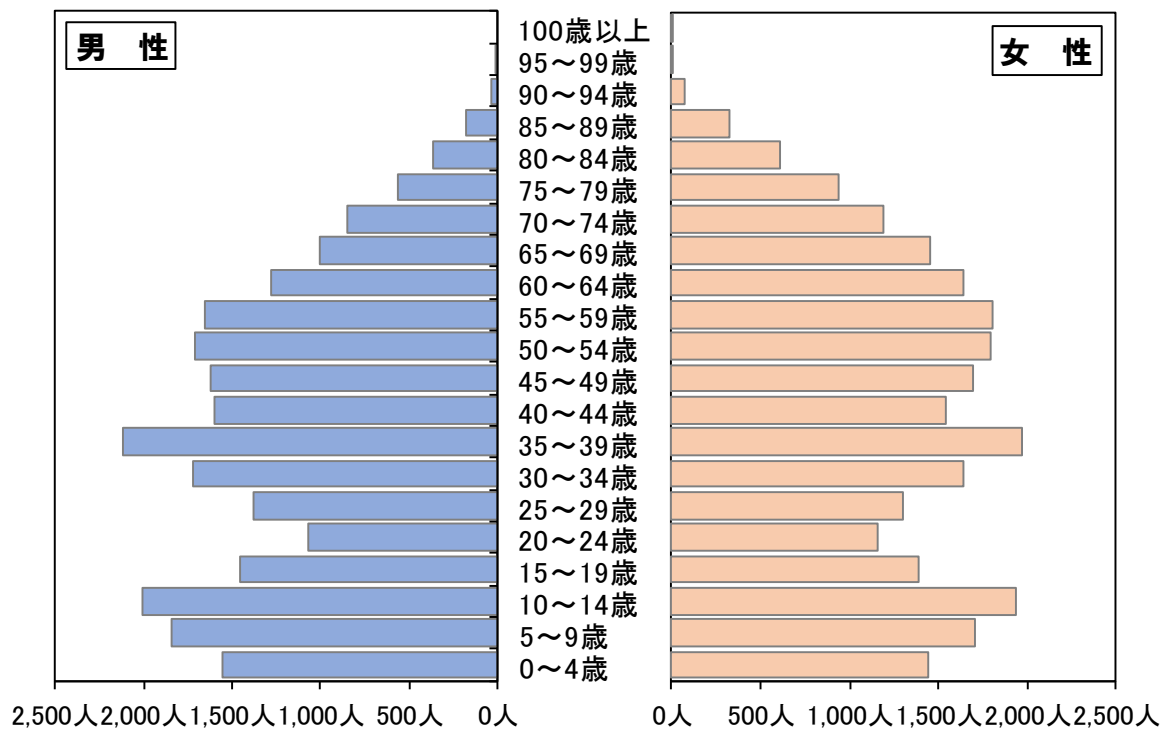
○年齢3区分別の人口構造の推移についてみると、老年人口が1985年の15.3%から2015年には35.0%と30年間で19.7ポイント増加している一方で、年少人口は21.1%から12.1%と9.0ポイント減少しており、少子高齢化が進行していることがわかります。



②性別の人口の変化

○1985 年と 2015 年の安来市の 5 歳階級別の人口構造を比較すると、65 歳以上の人口が増加している一方で、39 歳以下の人口は減少しています。

人口ピラミッド

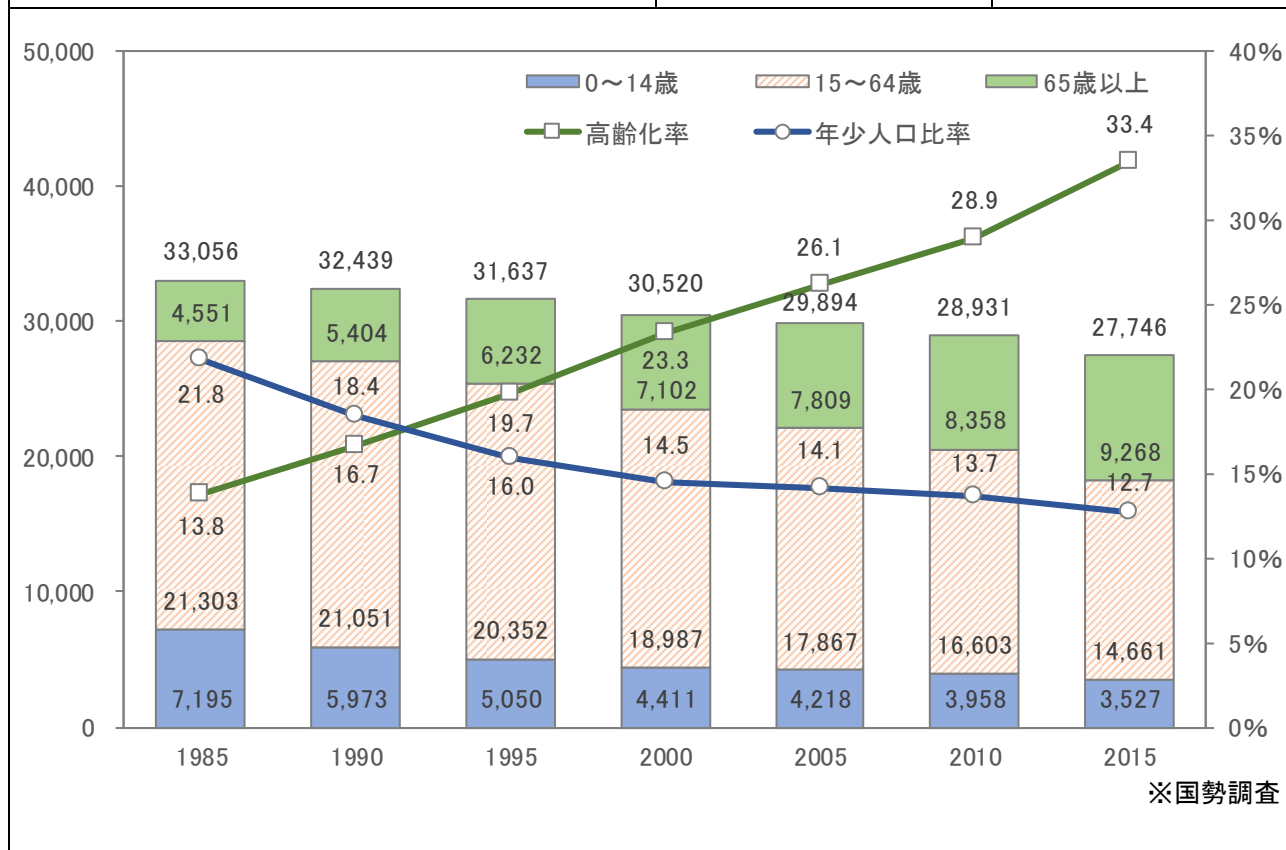


※国勢調査 1985 年、2015 年

3. 地域別の人口動向

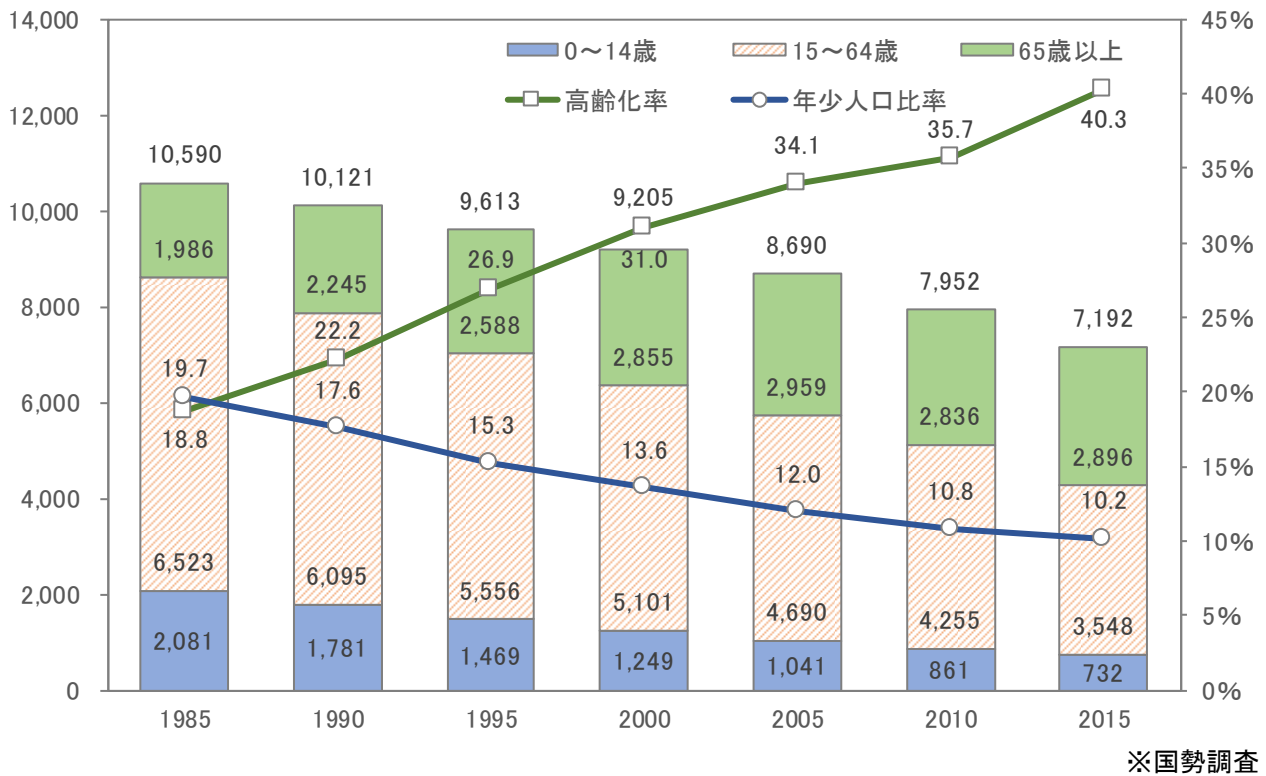
安来地域

エリアの概況	2015 年 データ	
安来地域では、総人口は減少傾向で推移しており、年少人口比率は減少、高齢化率は増加しています。 他の地域と比べ高齢化率は低く、生産年齢人口比率・年少人口比率は高くなっています。	総人口	27,746 人
	高齢化率	33.4%
	生産年齢人口比率	52.8%
	年少人口比率	12.7%
	女性比率	52.3%



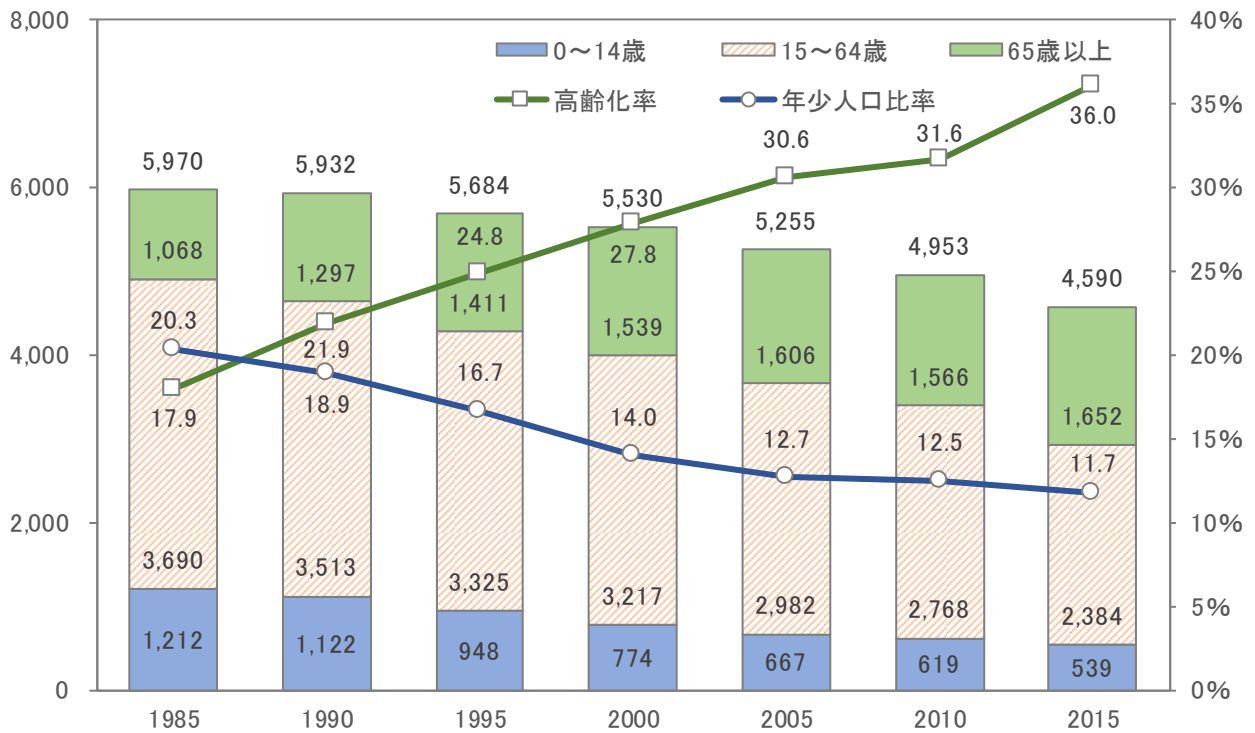
広瀬地域

エリアの概況	2015 年 データ	
広瀬地域では、総人口は減少傾向で推移しており、年少人口比率は減少、高齢化率は増加しています。 他の地域と比べ高齢化率は高く、生産年齢人口比率・年少人口比率は低くなっています。	総人口	7,192 人
	高齢化率	40.3%
	生産年齢人口比率	49.3%
	年少人口比率	10.2%
	女性比率	52.6%



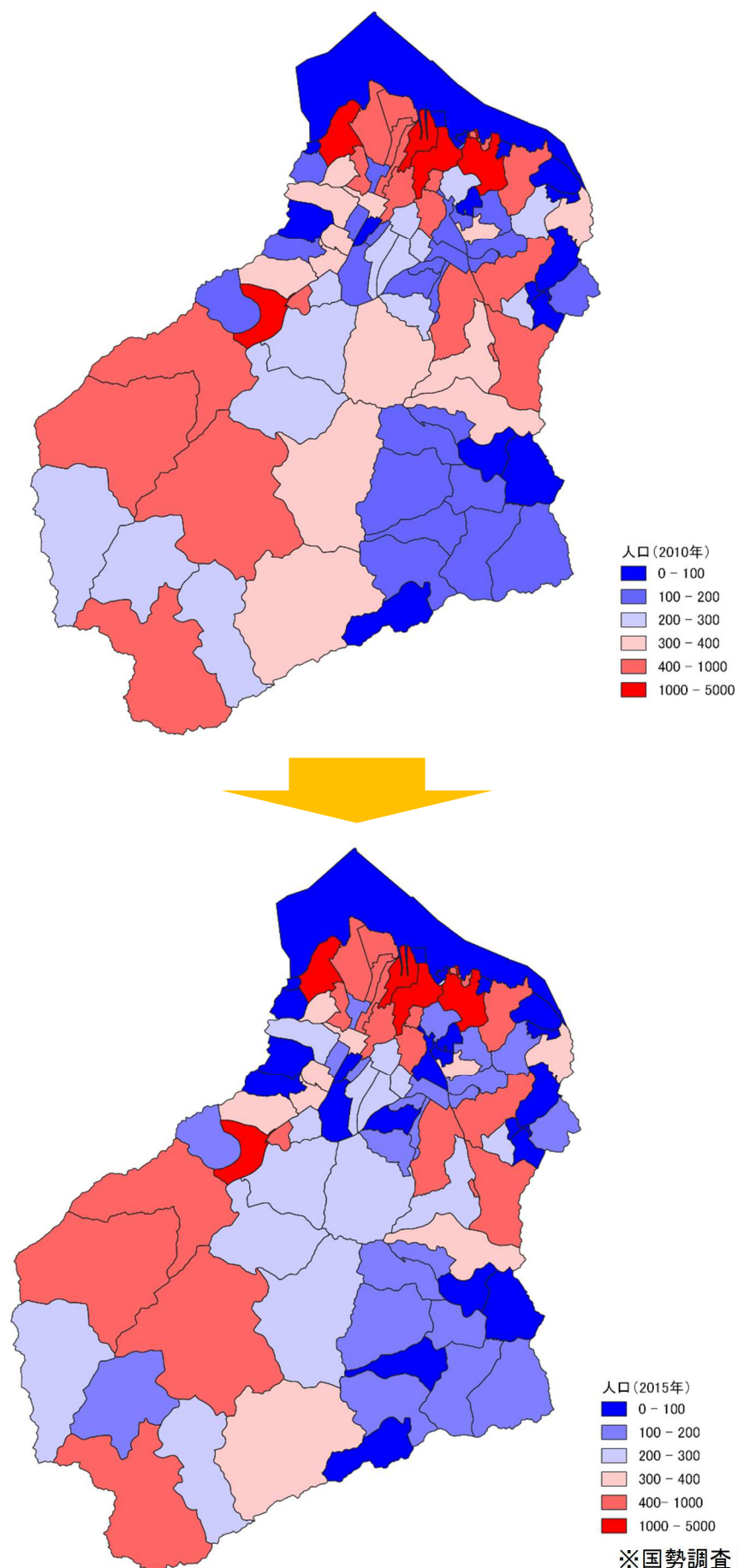
伯太地域

エリアの概況	2015 年 データ	
伯太地域では、総人口は減少傾向で推移しており、年少人口比率は減少、高齢化率は増加しています。 3地域の中で最も人口の少ない地域です。	総人口	4,590 人
	高齢化率	36.0%
	生産年齢人口比率	51.9%
	年少人口比率	11.7%
	女性比率	52.0%



※国勢調査

【参考】市内の地区別の人口の変化（2010⇒2015）

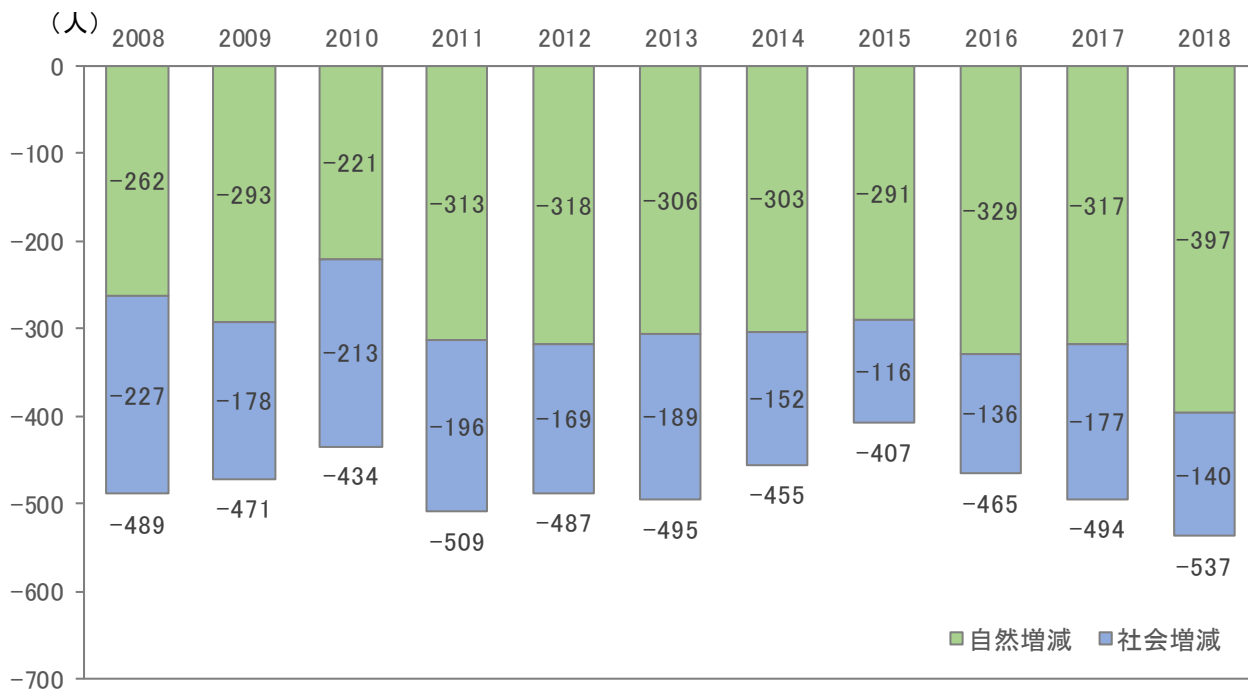


4. 自然動態・社会動態の状況

①自然増減・社会増減

○出生数から死亡者数を引いた自然増減、転入者数から転出者数を引いた社会増減をみると、2008年から2018年までで、増減はあるものの一貫してマイナスとなっています。

自然増減数と社会増減数の推移



※島根県「人口移動調査」

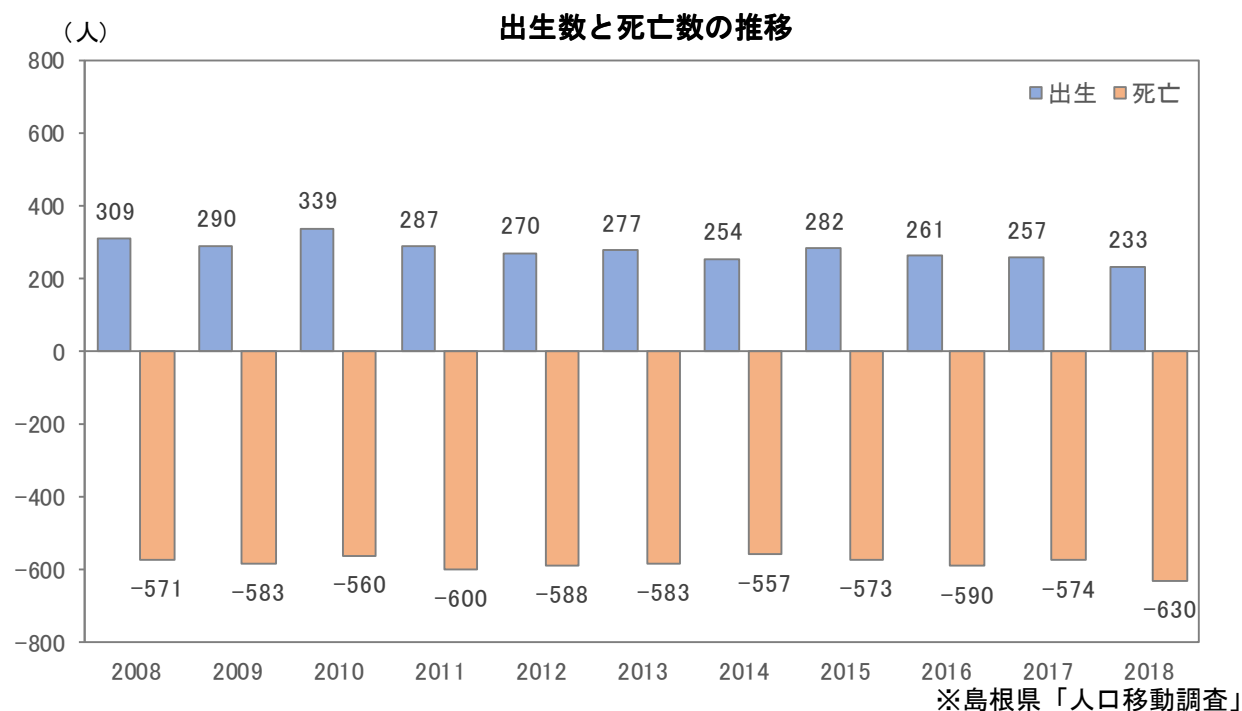
(人)

	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018
総数	-489	-471	-434	-509	-487	-495	-455	-407	-465	-494	-537
自然増減	-262	-293	-221	-313	-318	-306	-303	-291	-329	-317	-397
出生	309	290	339	287	270	277	254	282	261	257	233
死亡	-571	-583	-560	-600	-588	-583	-557	-573	-590	-574	-630
社会増減	-227	-178	-213	-196	-169	-189	-152	-116	-136	-177	-140
転入	922	940	851	819	891	842	853	876	835	815	851
転出	-1,149	-1,118	-1,064	-1,015	-1,060	-1,031	-1,005	-992	-971	-992	-991

※島根県「人口移動調査」

②出生・死亡

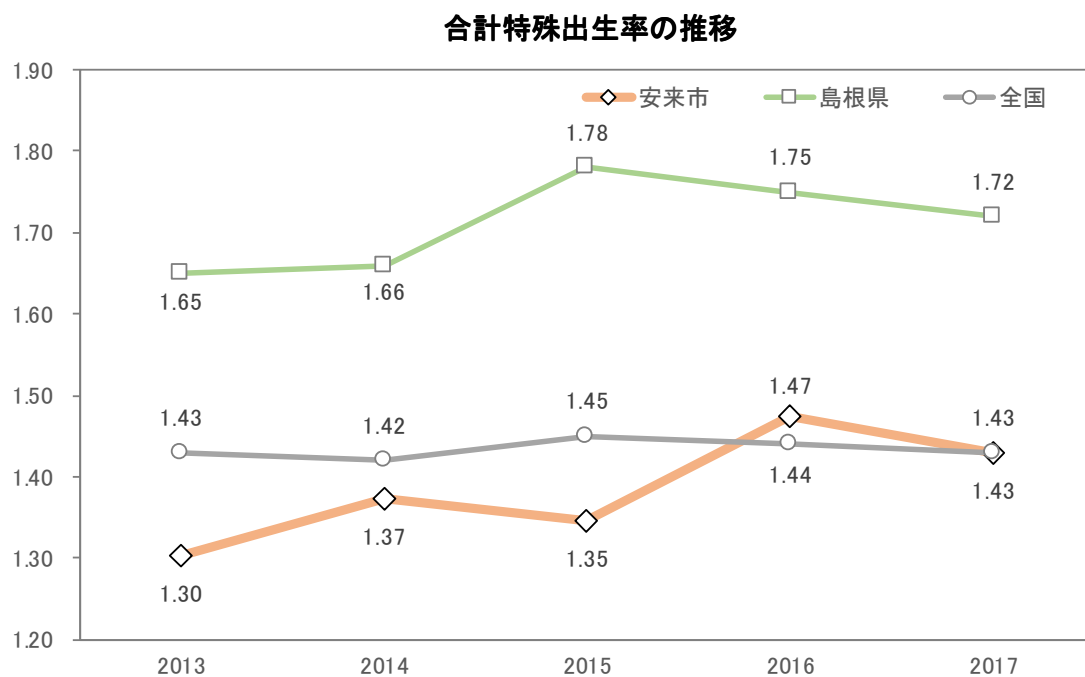
○2008年から2018年の10年間の出生・死亡者数をみると、出生・死亡者数ともに増減を繰り返して推移しており、2018年には、出生数は233人、死亡者数は630人となっています。



③合計特殊出生率

○2013年から2017年の合計特殊出生率をみると、増減を繰り返して推移しています。2017年には1.43となっており、全国と同じ値となっています。

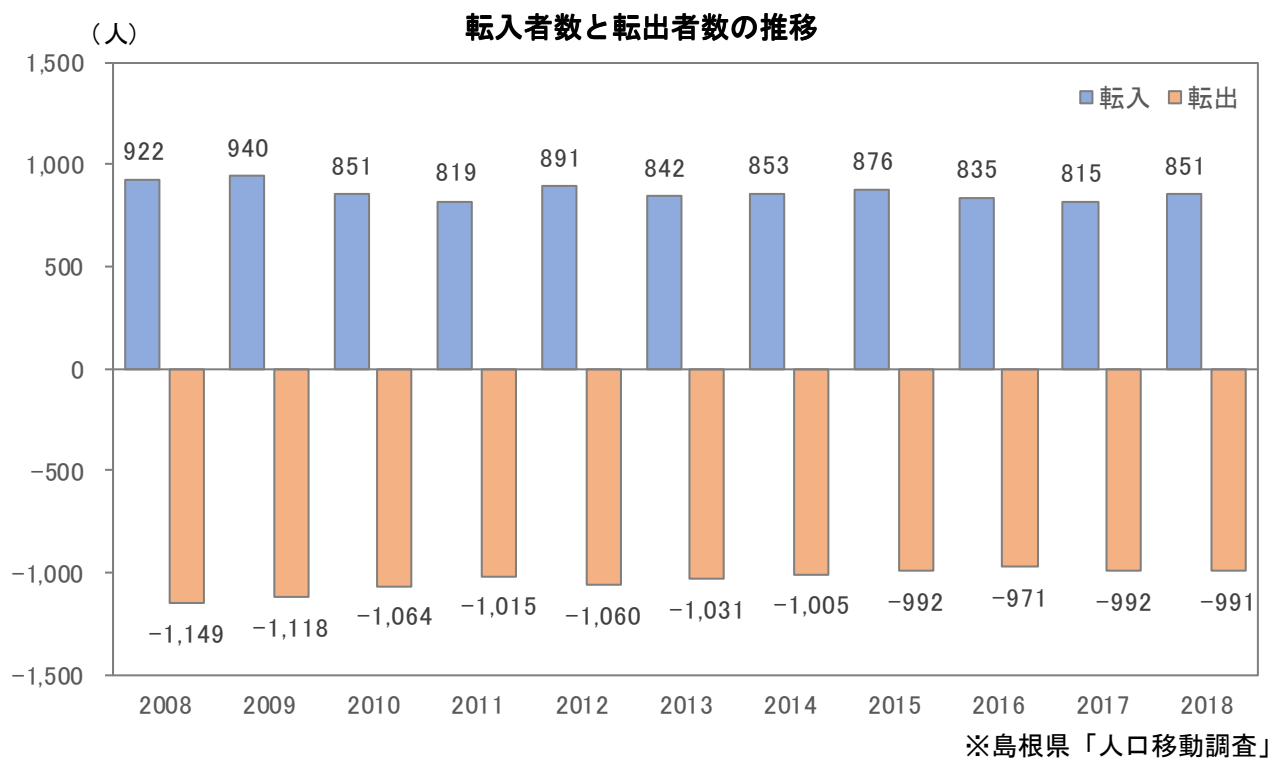
○島根県と比較すると、一貫して島根県の方が高くなっています。



※人口動態調査（安来市の合計特殊出生率のみ出生数、女性人口を用いて算出）

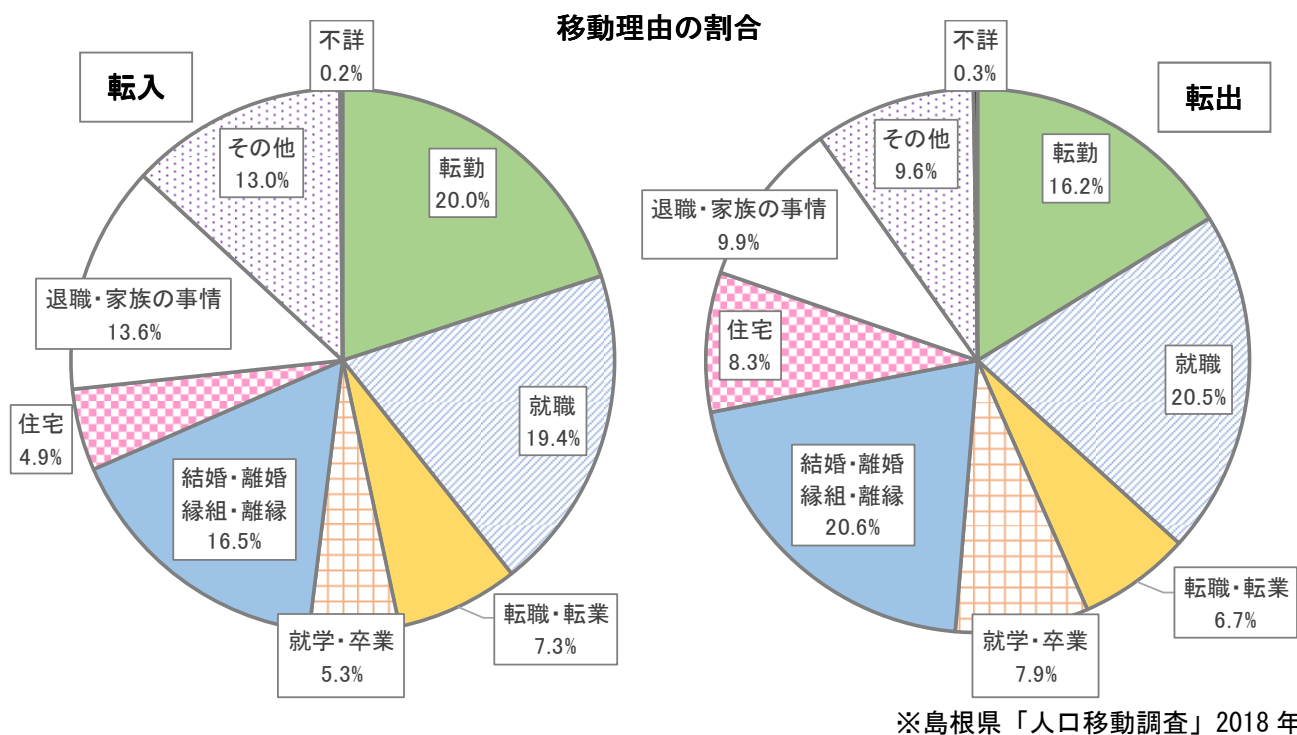
④転入・転出

○2008年から2018年の10年間の転入・転出者数をみると、転入・転出者数ともに増減を繰り返して推移しており、2018年では、転入者数は851人、転出者数は991人となっています。



⑤移動理由

○2018年における移動理由をみると、転入では「転勤」が最も多く、転出では「結婚・離婚 縁組・離縁」が最も多くなっています。

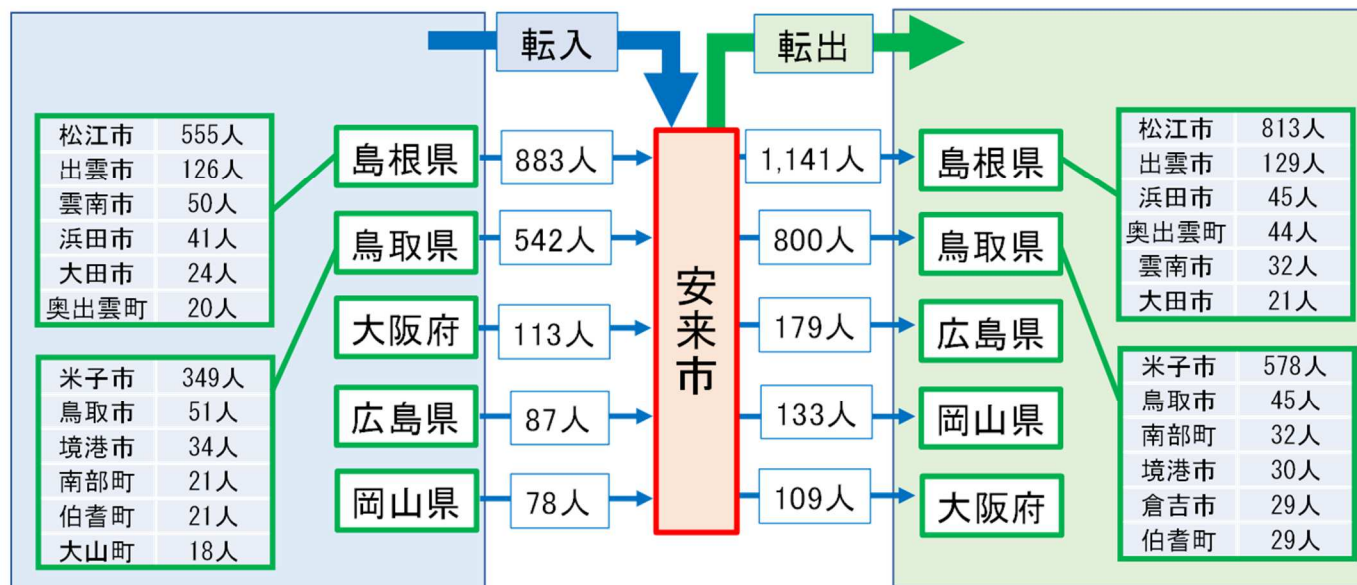


⑥主な転入・転出地

○2010 年から 2015 年に移動した転入・転出地をみると、転入・転出ともに「島根県」「鳥取県」が他都道府県に比べ多くなっています。

○市町村としては、転入・転出ともに「松江市」「米子市」が多くなっています。

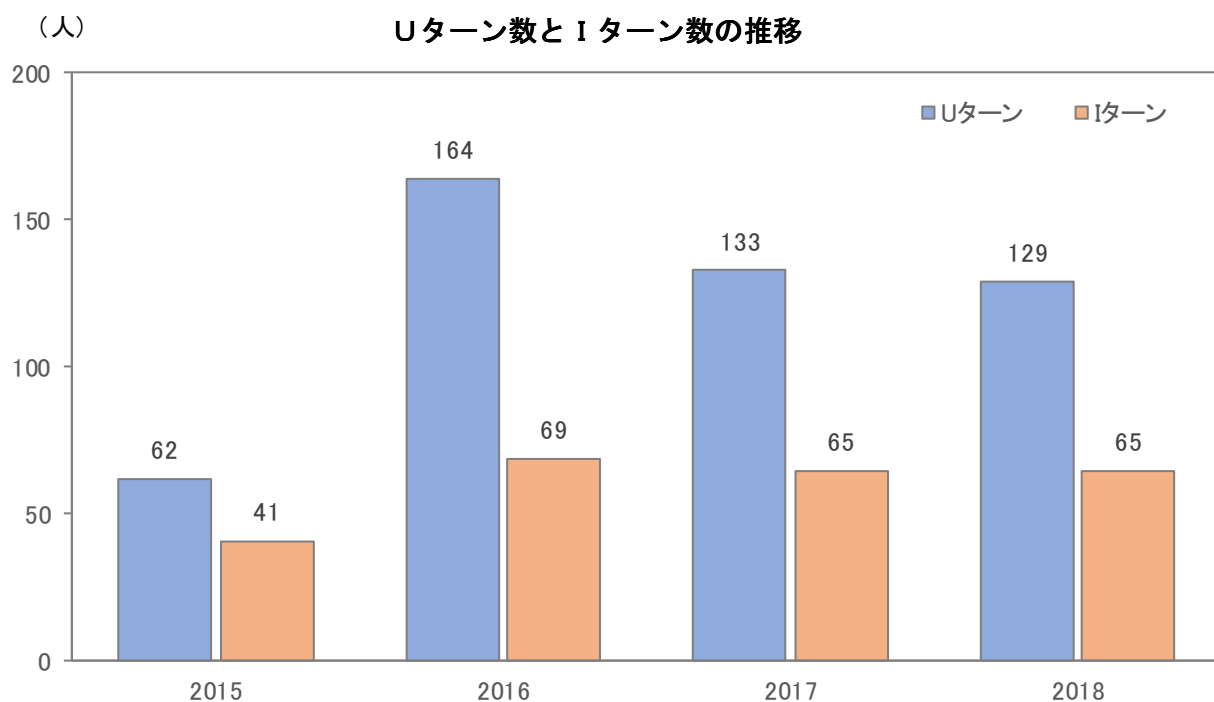
主な転入・転出地



※国勢調査 2010 年、2015 年

⑦Uターン・Iターン

○2015 年～2018 年のUターン・Iターン数をみると、Uターン・Iターンともに2016年に増加し、その後2017年～2018年は同程度の人数で推移しています。2018年では、Uターン者数は129人、Iターン者数は65人となっています。



※島根県「人口移動調査」

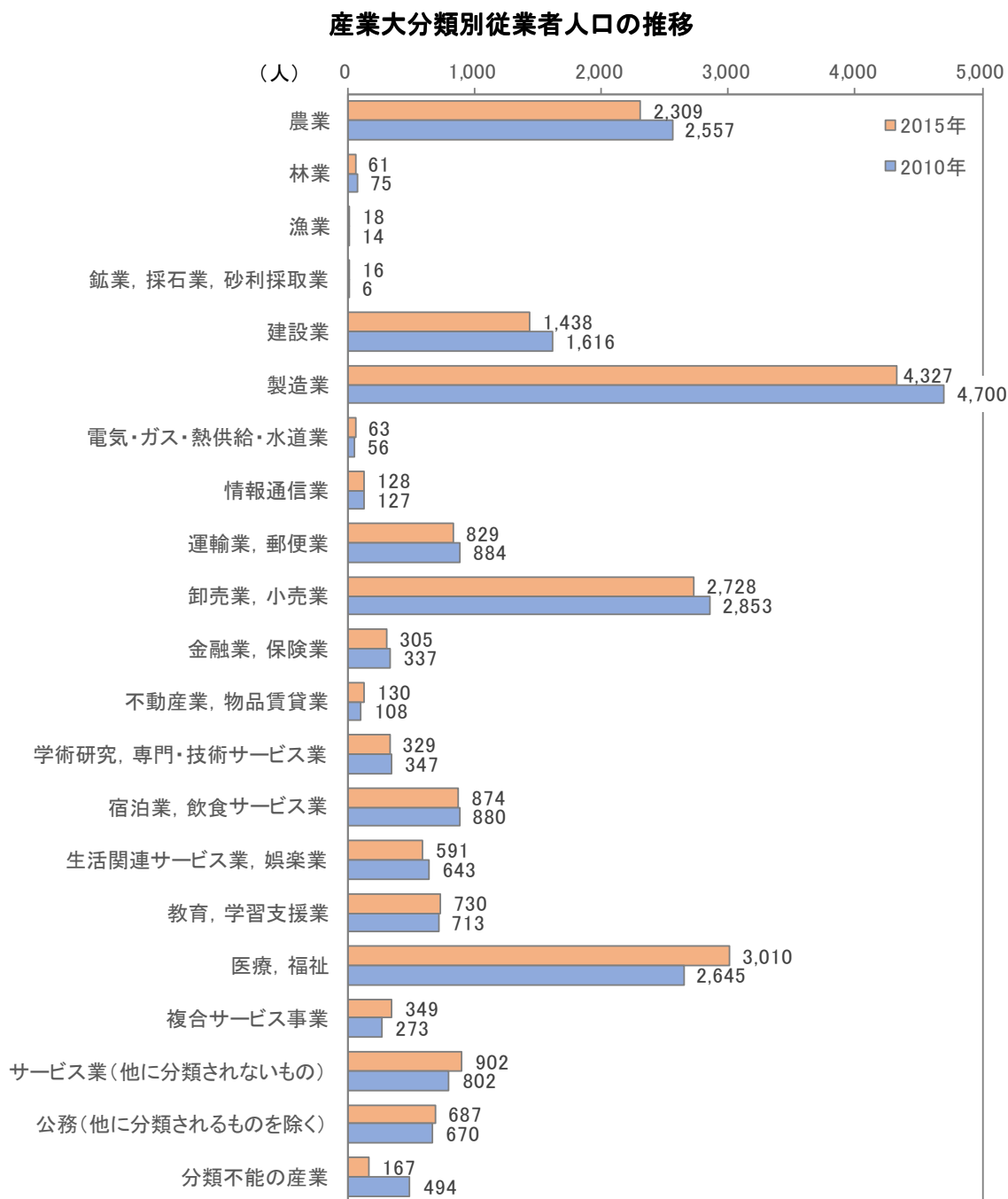
Uターン：県外転入者のうち、「転入市町村に5年以上住む予定があり、島根県に居住経験がある」と回答した世帯・者
Iターン：「転入市町村に5年以上住む予定があり、島根県に居住経験がない」と回答した世帯・者

5. その他の分析

①産業の状況

○2015年の産業大分類別就業者人口についてみると、最も就業者人口の多い産業は「製造業」で4,327人が従事しています。

○2010年と比較すると、就業者が減少した産業が多いなか、「医療、福祉」では5年間で365人増加しています。



※国勢調査 2010 年、2015 年

②通勤・通学の状況

○市内常住の就業者・通学者全体のうち、市内に 17,666 人が通勤（自宅勤務を含む）、3,581 人が通学しており、市外には 5,571 人が通勤、759 人が通学しています。市内常住の就業者・通学者における、市内への通勤・通学は 77.0%、市外への通勤・通学は 23.0%となっています。

○市内での就業者・通学者全体のうち、市外からは 4,929 人が通勤、136 人が通学しています。市内での就業者・通学者全体における、市内からの通勤・通学は 80.8%、市外からの通勤・通学は 19.2%となっています。

就業者・通学者の従業・通学地

(人)

			計		男		女	
安来市内に常住			27,577		14,799		12,778	
市内へ	安来市内常住者が安来市内に							
	総計		21,247	(77.0%)	11,214	(75.8%)	10,033	(78.5%)
	通勤	計	17,666	(64.1%)	9,427	(63.7%)	8,239	(64.5%)
		15歳以上	14,293	(51.8%)	7,547	(51.0%)	6,746	(52.8%)
		自宅勤務	3,373	(12.2%)	1,880	(12.7%)	1,493	(11.7%)
	通学	計	3,581	(13.0%)	1,787	(12.1%)	1,794	(14.0%)
		15歳以上	860	(3.1%)	400	(2.7%)	460	(3.6%)
		15歳未満	2,721	(9.9%)	1,387	(9.4%)	1,334	(10.4%)
市外へ※流出	安来市内常住者が安来市外に							
	総計		6,330	(23.0%)	3,585	(24.2%)	2,745	(21.5%)
	通勤	15歳以上	5,571	(20.2%)	3,180	(21.5%)	2,391	(18.7%)
	通学	計	759	(2.8%)	405	(2.7%)	354	(2.8%)
		15歳以上	722	(2.6%)	382	(2.6%)	340	(2.7%)
		15歳未満	37	(0.1%)	23	(0.2%)	14	(0.1%)

※国勢調査2015年

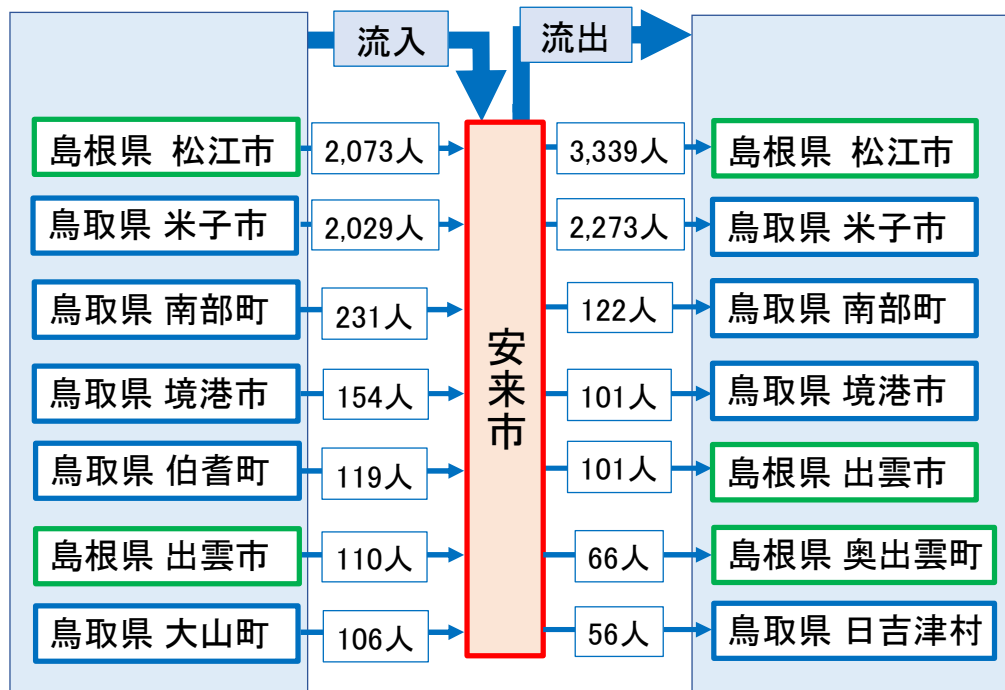
(人)

			計		男		女	
安来市内で就業・通学			26,312		14,902		11,410	
市内から	安来市内常住者が安来市内に							
	総計		21,247	(80.8%)	11,214	(75.3%)	10,033	(87.9%)
	通勤	計	17,666	(67.1%)	9,427	(63.3%)	8,239	(72.2%)
		15歳以上	14,293	(54.3%)	7,547	(50.6%)	6,746	(59.1%)
		自宅勤務	3,373	(12.8%)	1,880	(12.6%)	1,493	(13.1%)
	通学	計	3,581	(13.6%)	1,787	(12.0%)	1,794	(15.7%)
		15歳以上	860	(3.3%)	400	(2.7%)	460	(4.0%)
		15歳未満	2,721	(10.3%)	1,387	(9.3%)	1,334	(11.7%)
市外から※流入	安来市外常住者が安来市内に							
	総計		5,065	(19.2%)	3,688	(24.7%)	1,377	(12.1%)
	通勤	15歳以上	4,929	(18.7%)	3,620	(24.3%)	1,309	(11.5%)
	通学	計	136	(0.5%)	68	(0.5%)	68	(0.6%)
		15歳以上	131	(0.5%)	64	(0.4%)	67	(0.6%)
15歳未満		5	(0.0%)	4	(0.0%)	1	(0.0%)	

※国勢調査2015年

○流入地・流出地ともに松江市が最も多く、米子市、南部町と続いています。松江市と米子市は流出に比べ流入が少なくなっていますが、南部町は流出に比べ流入が多くなっています。

主な流入・流出地

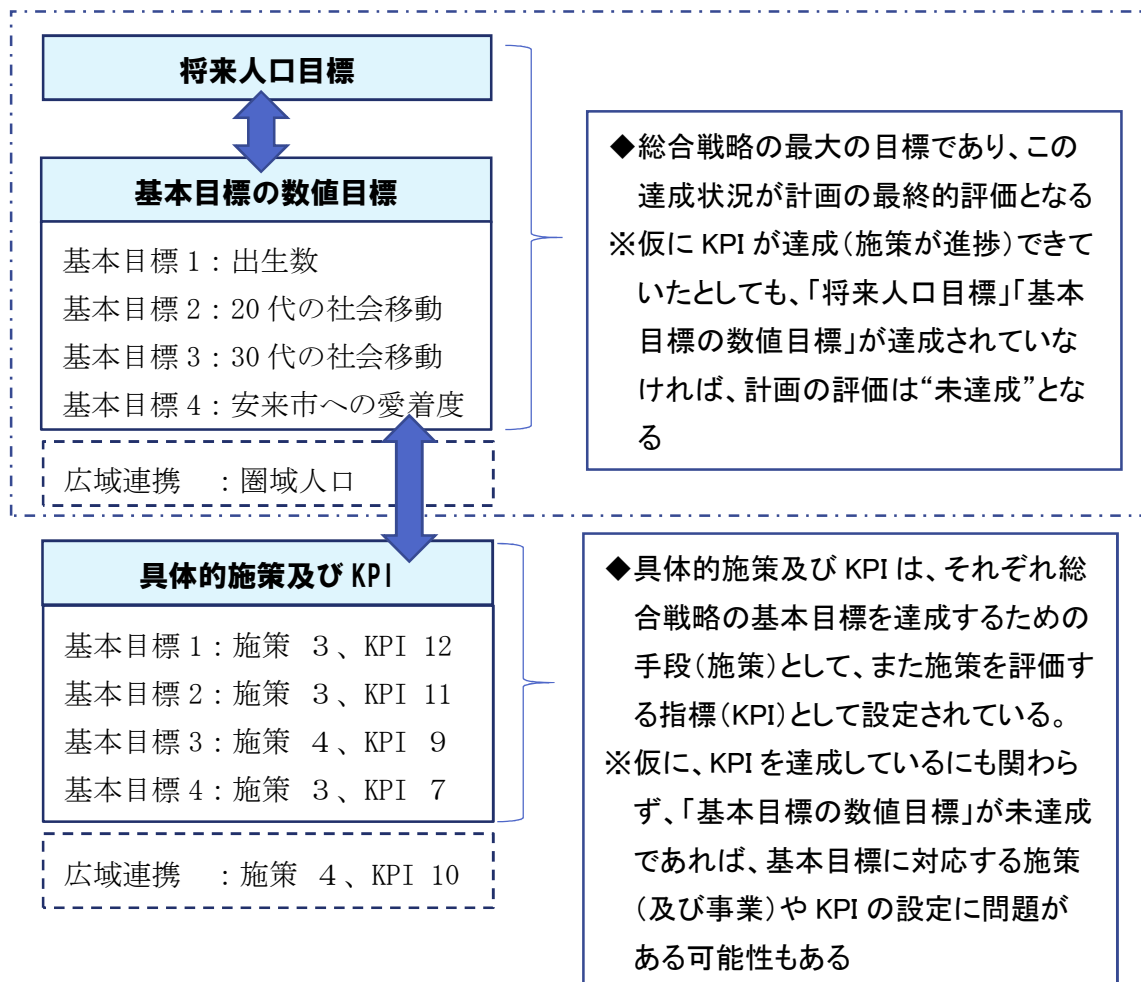


※国勢調査 2015 年

安来市総合戦略の総合的評価（2019.7）

1. 総合戦略の評価の基本的な考え方

- 総合戦略は人口ビジョンで掲げる将来人口目標を達成するための戦略として位置づけられた計画です。
- 総合戦略は将来人口目標を達成するための基本目標（及びその達成を測るための数値目標）とその実現のための具体的施策（及びその進捗を測るための KPI）で構成されています。
- 総合戦略の評価については、こうした計画の趣旨や構造を踏まえれば、最大の目標である「将来人口目標」、これを実現するための「基本目標の数値目標」の達成の検証が最も重要となります。
- また、こうした上位の目標達成の手段としての施策と KPI の関係性についても検証し、次期計画策定につなげることが必要です。



2. 「将来人口目標」「基本目標の数値目標」の達成状況

(1) 2020 年の「将来人口目標」の達成見込み

○安来市の人口ビジョンにおいては 2020 年の「将来人口目標」を約 38,000 人と設定している中で、島根県推計人口月報（2019 年 7 月 1 日時点）においては、すでに 37,686 人となっています。

◇安来市の人口ビジョンの「将来人口目標（2020 年 10 月 1 日時点）」⇒ 約 38,000 人
 参考①：島根県推計人口月報における安来市の人口（2019 年 7 月 1 日時点）⇒ 37,686 人
 参考②：直近の変化率で推移した場合の安来市の人口（2020 年 10 月 1 日時点）⇒ 約 37,200 人

【島根県推計人口】安来市の人口の推移

全 体	人 口					変 化 率				
	(参考) 2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	(参考) 2014⇒2015	2015⇒2016	2016⇒2017	2017⇒2018	2015⇒2018
総人口	39,890	39,528	39,063	38,569	38,032	99.1%	98.8%	98.7%	98.6%	96.2%
0～4歳	1,440	1,356	1,352	1,326	1,292	94.2%	99.7%	98.1%	97.4%	95.3%
5～9歳	1,681	1,620	1,586	1,526	1,483	96.4%	97.9%	96.2%	97.2%	91.5%
10～14歳	1,856	1,822	1,737	1,713	1,691	98.2%	95.3%	98.6%	98.7%	92.8%
15～19歳	1,864	1,641	1,742	1,786	1,768	88.0%	106.2%	102.5%	99.0%	107.7%
20～24歳	1,324	1,229	1,118	1,094	1,162	92.8%	91.0%	97.9%	106.2%	94.5%
25～29歳	1,441	1,486	1,403	1,281	1,207	103.1%	94.4%	91.3%	94.2%	81.2%
30～34歳	1,842	1,813	1,763	1,704	1,586	98.4%	97.2%	96.7%	93.1%	87.5%
35～39歳	2,305	2,162	2,113	2,028	1,909	93.8%	97.7%	96.0%	94.1%	88.3%
40～44歳	2,506	2,562	2,510	2,465	2,397	102.2%	98.0%	98.2%	97.2%	93.6%
45～49歳	2,049	2,061	2,213	2,273	2,378	100.6%	107.4%	102.7%	104.6%	115.4%
50～54歳	2,273	2,217	2,095	2,052	2,013	97.5%	94.5%	97.9%	98.1%	90.8%
55～59歳	2,529	2,444	2,373	2,335	2,311	96.6%	97.1%	98.4%	99.0%	94.6%
60～64歳	3,168	2,978	2,806	2,644	2,557	94.0%	94.2%	94.2%	96.7%	85.9%
65～69歳	3,474	3,639	3,862	3,610	3,332	104.7%	106.1%	93.5%	92.3%	91.6%
70～74歳	2,672	2,652	2,492	2,794	3,024	99.3%	94.0%	112.1%	108.2%	114.0%
75～79歳	2,643	2,539	2,451	2,396	2,377	96.1%	96.5%	97.8%	99.2%	93.6%
80～84歳	2,209	2,279	2,318	2,335	2,330	103.2%	101.7%	100.7%	99.8%	102.2%
85～89歳	1,560	1,610	1,629	1,666	1,656	103.2%	101.2%	102.3%	99.4%	102.9%
90～94歳	761	787	866	897	899	103.4%	110.0%	103.6%	100.2%	114.2%
95～99歳	247	278	274	280	295	112.6%	98.6%	102.2%	105.4%	106.1%
100歳以上	34	32	39	43	44	94.1%	121.9%	110.3%	102.3%	137.5%
年齢不詳	12	321	321	321	321					

※島根県推計人口年報（各年 10 月 1 日時点、2015 年は国勢調査）

県推計人口は、国勢調査結果を基準に、その後毎月の出生・死亡の自然動態、転入・転出の社会動態（島根県人口移動調査）の結果によって加減したもの。

なお、2014 年と 2016 年以降は基準となる国勢調査の数値が異なる。

○過去 4 年間の人口の推移を踏まえると、現時点では、将来人口目標の達成は困難と考えられます。（ただし、現総合戦略の計画期間は 2019 年度末までであることに留意）

参考：【島根県推計人口】安来市の性别人口の推移

男 性	人 口					変化率				
	(参考) 2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	(参考) 2014⇒2015	2015⇒2016	2016⇒2017	2017⇒2018	2015⇒2018
総人口	18,995	18,859	18,644	18,430	18,201	99.3%	98.9%	98.9%	98.8%	96.5%
0～4歳	728	686	711	688	676	94.2%	103.6%	96.8%	98.3%	98.5%
5～9歳	880	844	803	792	765	95.9%	95.1%	98.6%	96.6%	90.6%
10～14歳	941	946	906	885	874	100.5%	95.8%	97.7%	98.8%	92.4%
15～19歳	943	821	872	877	876	87.1%	106.2%	100.6%	99.9%	106.7%
20～24歳	686	615	558	573	590	89.7%	90.7%	102.7%	103.0%	95.9%
25～29歳	737	773	726	666	652	104.9%	93.9%	91.7%	97.9%	84.3%
30～34歳	936	928	900	861	801	99.1%	97.0%	95.7%	93.0%	86.3%
35～39歳	1,189	1,121	1,112	1,062	997	94.3%	99.2%	95.5%	93.9%	88.9%
40～44歳	1,289	1,306	1,267	1,256	1,212	101.3%	97.0%	99.1%	96.5%	92.8%
45～49歳	1,042	1,050	1,138	1,159	1,230	100.8%	108.4%	101.8%	106.1%	117.1%
50～54歳	1,131	1,105	1,042	1,017	1,011	97.7%	94.3%	97.6%	99.4%	91.5%
55～59歳	1,277	1,262	1,215	1,191	1,180	98.8%	96.3%	98.0%	99.1%	93.5%
60～64歳	1,585	1,481	1,390	1,321	1,278	93.4%	93.9%	95.0%	96.7%	86.3%
65～69歳	1,707	1,784	1,887	1,758	1,632	104.5%	105.8%	93.2%	92.8%	91.5%
70～74歳	1,233	1,243	1,186	1,354	1,444	100.8%	95.4%	114.2%	106.6%	116.2%
75～79歳	1,138	1,095	1,059	1,041	1,050	96.2%	96.7%	98.3%	100.9%	95.9%
80～84歳	841	866	896	918	925	103.0%	103.5%	102.5%	100.8%	106.8%
85～89歳	512	536	543	570	555	104.7%	101.3%	105.0%	97.4%	103.5%
90～94歳	151	173	207	218	229	114.6%	119.7%	105.3%	105.0%	132.4%
95～99歳	38	34	35	34	34	89.5%	102.9%	97.1%	100.0%	100.0%
100歳以上	2	6	7	5	6	300.0%	116.7%	71.4%	120.0%	100.0%
不詳	9	184	184	184	184					

女 性	人 口					変化率				
	(参考) 2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	(参考) 2014⇒2015	2015⇒2016	2016⇒2017	2017⇒2018	2015⇒2018
総人口	20,895	20,669	20,419	20,139	19,831	98.9%	98.8%	98.6%	98.5%	95.9%
0～4歳	712	670	641	638	616	94.1%	95.7%	99.5%	96.6%	91.9%
5～9歳	801	776	783	734	718	96.9%	100.9%	93.7%	97.8%	92.5%
10～14歳	915	876	831	828	817	95.7%	94.9%	99.6%	98.7%	93.3%
15～19歳	921	820	870	909	892	89.0%	106.1%	104.5%	98.1%	108.8%
20～24歳	638	614	560	521	572	96.2%	91.2%	93.0%	109.8%	93.2%
25～29歳	704	713	677	615	555	101.3%	95.0%	90.8%	90.2%	77.8%
30～34歳	906	885	863	843	785	97.7%	97.5%	97.7%	93.1%	88.7%
35～39歳	1,116	1,041	1,001	966	912	93.3%	96.2%	96.5%	94.4%	87.6%
40～44歳	1,217	1,256	1,243	1,209	1,185	103.2%	99.0%	97.3%	98.0%	94.3%
45～49歳	1,007	1,011	1,075	1,114	1,148	100.4%	106.3%	103.6%	103.1%	113.6%
50～54歳	1,142	1,112	1,053	1,035	1,002	97.4%	94.7%	98.3%	96.8%	90.1%
55～59歳	1,252	1,182	1,158	1,144	1,131	94.4%	98.0%	98.8%	98.9%	95.7%
60～64歳	1,583	1,497	1,416	1,323	1,279	94.6%	94.6%	93.4%	96.7%	85.4%
65～69歳	1,767	1,855	1,975	1,852	1,700	105.0%	106.5%	93.8%	91.8%	91.6%
70～74歳	1,439	1,409	1,306	1,440	1,580	97.9%	92.7%	110.3%	109.7%	112.1%
75～79歳	1,505	1,444	1,392	1,355	1,327	95.9%	96.4%	97.3%	97.9%	91.9%
80～84歳	1,368	1,413	1,422	1,417	1,405	103.3%	100.6%	99.6%	99.2%	99.4%
85～89歳	1,048	1,074	1,086	1,096	1,101	102.5%	101.1%	100.9%	100.5%	102.5%
90～94歳	610	614	659	679	670	100.7%	107.3%	103.0%	98.7%	109.1%
95～99歳	209	244	239	246	261	116.7%	98.0%	102.9%	106.1%	107.0%
100歳以上	32	26	32	38	38	81.3%	123.1%	118.8%	100.0%	146.2%
不詳	3	137	137	137	137					

(2)「基本目標の数値目標」の達成見込み

○4つの基本目標にはそれぞれ1つの数値目標が設定されていますが、基本目標4は未達成が確定しており、基本目標1～3についてもこれまでの実態を踏まると、現時点では達成が困難と考えられます。

○なお、安来市の合計特殊出生率は増加傾向（H26：1.59⇒H29：1.68）である中で、出生数が伸びないのは、出産可能とされる年代の女性の数が少ない（15～49歳の状況（2018年）：女性6,049人、男性6,359人）ことが主な要因の一つと考えられます。

基本目標1. 若い世代の結婚・出産・子育てを“支援(てご)”する

○出生数は2015～2018年の4年間の平均が254人と、目標値・基準値ともに下回っています。

なお、目標値を達成するには、2019年の出生数が342人必要です。

指 標	基準値 (2013)	目標値 (2015～2019年平均)	実績値 (2015～2018平均)	参考：目標達成に必要な2019年値
出生数	267人	272人	254人	342人

基本目標2. 産業振興により、若者に魅力ある雇用の場を創出する

○20代の社会移動は2015～2018年の4年間の平均が▲82人と、目標値・基準値ともに下回っています。なお、目標値を達成するには、2019年の20代の社会移動がプラス328人である必要があります。

指 標	基準値 (2013)	目標値 (2015～2019年平均)	実績値 (2015～2018平均)	参考：目標達成に必要な2019年値
20代の社会移動	▲58人	±0人	▲82人	328人

基本目標3. 住環境を向上し、市民の定住意識を高める

○30代の社会移動は2015～2018年の4年間の平均が▲11人と、目標値を下回っています。なお、目標値を達成するには、2019年の30代の社会移動がプラス68人である必要があります。

指 標	基準値 (2013)	目標値 (2015～2019年平均)	実績値 (2015～2018平均)	参考：目標達成に必要な2019年値
30代の社会移動	▲71人	26人	▲11人	68人

基本目標4. 多種多様で魅力的な“地域(じげ)”を形成する

○安来市への愛着度は2018年の実績値が61.6%と、目標値・基準値ともに下回っています。

指 標	基準値 (2014)	目標値 (2018年値)	実績値 (2018年値)
安来市への愛着度	62.3%	70.0%	61.6%

※市民アンケート

3. 「KPI（重要業績評価指標）」の達成状況

（１）基本目標１（若い世代の結婚・出産・子育てを“支援（てご）”する）のKPI 達成見込み

○基本目標１の12のKPIのうち、達成見込の指標は3つ（25.0%）となっています。

○基本目標１の数値目標（出生数）の実績は目標値・基準値ともに下回っており、ほとんどのKPIが未達成となる見込みであることと、連動した結果であると考えられます。

基本目標１のKPIの達成状況

施 策	指 標	基準値	目標値	実績値	参考：目標達成に必要な2019年値	達成見込
(1)結婚しやすい環境づくり	「はぴこ交流サロン」を通じた成婚数	0組 (2014)	50組 (累計)	11組 (2015～2018累計)	39組	
(2)-①妊娠・出産・育児の支援	メールマガジン登録者数 (0～5歳児家庭)	-	400件 (累計)	152件 (2015～2018累計)	248件	
	一般不妊治療費助成件数	54人 (2014)	60人 (平均)	48人 (2015～2018平均)	108人	
	子宮頸がん検診受診者数	818人 (2014)	940人 (平均)	1,050人 (2015～2018平均)	500人	○
	はじめての子育て講座の受講者数	41人 (2014)	40人 (平均)	42人 (2015～2018平均)	33人	○
	認定こども園運営事業	0箇所 (2014)	14箇所 (2019)	12箇所 (2018)	2箇所	△
(2)-②地域が一体となった子育て支援	子育て支援センター利用者数 (0～2歳児)	607人/月 (2014)	607人/月 (毎年)	589人/月 (2015～2018平均)	681人/月	
	ファミリーサポートセンター利用者数（小学1～6年生）	12人/週 (2014)	25人/週 (2019)	6人/週 (2018)	25人/週	
	放課後児童クラブ利用数	275人/年 (2014)	416人/年 (2019)	362人/年 (2018)	416人/年	
	放課後児童クラブ数	11箇所 (2014)	14箇所 (2019)	13箇所 (2018)	1箇所	△
(3)学校教育の充実・グローバル人材の育成	未就学児の英語に親しむ活動の実施率（定期的に外国語指導助手を巡回させる幼稚園、認定こども園の割合）	-	100% (2019)	100% (2018)	100%	○
	全国学力調査の児童・生徒質問紙の回答の割合（質問：今住んでいる地域の行事に参加していますか）	小学生 85.1% / 中学生 54.6%	小学生 90.0% / 中学生 60.0%	小学生77.7% / 中学生56.9%	小学生90.0% / 中学生60.0%	

○未達成の見込みのKPIについては、目標値や、目標達成のための事業内容等の見直しが求められます。

○また、達成状況の表の色付けした指標については、他の指標と比較して、基本目標１の数値目標（出生数）の達成との関係性が薄いと考えられることから、他の指標や関連する事業の設定の検討が求められます。

【基本目標の数値目標の継続を前提とした新たなKPIの例】

◇出生の要因となる、「合計特殊出生率」「15～49歳の女性の人口（割合）」「15～49歳の女性の婚姻率」等

（２）基本目標２（産業振興により、若者に魅力ある雇用の場を創出する）の KPI 達成見込み

○基本目標２の 11 の KPI のうち、達成見込の指標は 6 つ（54.5%）となっています。

○KPI の半数以上が達成となる見込みの中で、基本目標２の数値目標（20 代の社会移動）の実績は目標値・基準値ともに下回っていることから、KPI とこれに紐づく事業が、基本目標の達成に関連しているか、改めて精査することが求められます。

基本目標２の KPI の達成状況

施策	指標	基準値	目標値	実績値	参考：目標達成に必要な 2019 年値	達成見込
(1)-①ものづくり産業の振興	新技術等の開発や取引拡大の支援件数	4件 (2014)	30件 (累計)	29件 (2015～2018累計)	1件	○
	企業誘致及び立地促進による新規雇用者数	41人 (2010～2014)	100人 (累計)	350人 (2015～2018累計)	0人	○
	ふるさと寄附の返礼品目数	41品目 (2014)	70品目 (2019)	172品目 (2018)	0品目	○
(1)-②農林業の振興	集落営農組織数	49組織 (2015)	59組織 (2019)	61組織 (2018)	0組織	○
	新規就農者数	11人 (2008～2014)	20人 (累計)	9人 (2015～2018累計)	11人	
	認定農業者数	102組織 (2015)	121組織 (2019)	99組織 (2018)	31組織	
	新規林業従事者数	3人 (2014)	15人 (累計)	7人 (2015～2018累計)	8人	
	市産材の活用量（バイオマス・公共施設等への市産材活用）	1,000m ³ (2016)	平均2,000m ³ (2018)	1,353m ³ (2018)	—	
(1)-③創業支援	支援事業を通じた新規創業件数	—	25件 (累計)	38件 (2015～2018累計)	0件	○
(2)地域資源を活かした観光振興	観光入込客数	140.5万人 (2014)	145万人 (平均)	1,463,911人 (2015～2018平均)	1,394,355人	○
(3)若者・女性等の就職支援の充実	求職・求人ポータルサイト「中海圏域就職ナビ」登録事業所数	32社 (2014)	100社 (2019)	2社 (2018)	100社	

○達成状況の表の色付けした指標については、他の指標と比較して、基本目標２の数値目標（20 代の社会移動）の達成との関係性が薄いと考えられることから、他の指標や関連する事業の設定の検討が求められます。

○なお、設定された各 KPI は対象となる年代が明確にされておらず、基本目標２の数値目標（20 代の社会移動）だけでなく、基本目標３の数値目標（30 代の社会移動）等とも深く関係していると考えられます。次期戦略の指標の設定においては、年代を明確化する等の検討も必要と考えられます。

【基本目標の数値目標の継続を前提とした新たな KPI の例】

◇各指標の年齢層を明確化した、「20 代の市内企業新規雇用者数」「20 代の新規就農者数」「20 代の新規創業数」等

(3) 基本目標3（住環境を向上し、市民の定住意識を高める）のKPI 達成見込み

○基本目標3の9のKPIのうち、達成見込の指標は2つ（22.2%）となっています。

○KPIがほぼ未達成となる見込みである一方で、基本目標3の数値目標（30代の社会移動）の実績は目標値を下回っているものの基準値は上回っており、KPIとこれに紐づく事業が、基本目標の達成に関連しているか、改めて精査することが求められます。

基本目標3のKPIの達成状況

施策	指標	基準値	目標値	実績値	参考：目標達成に必要な2019年値	達成見込
(1)住宅の確保	住宅支援の補助件数	3件 (2014)	550件 (累計)	349件 (2015～2018累計)	201件	
	空き家バンク登録住宅の活用件数	12件 (2014)	50件 (累計)	21件 (2015～2018累計)	29件	
(2)移住者受け入れ体制の充実	相談窓口を通じた移住者数	28人 (2014)	126人 (毎年)	86人 (2015～2018平均)	285人	
(3)まちなか等の利便性の向上	事業を利用した空き店舗等への出店数	2件 (2010～2014)	10件 (累計)	13件 (2015～2018累計)	0件	○
(4)-①防災体制の整備	自主防災組織数	35組織 (2014)	45組織 (2019)	45組織 (2018)	0組織	○
	消防団員数	720人 (2014)	720人 (2019)	702人 (2018)	720人	△
(4)-②医療・福祉の充実	介護人材育成支援事業（旧：福祉専門学校就学補助）数	-	75人 (累計)	19人 (2015～2018累計)	51人	
	医学生、看護学生奨学金制度を活用して市内医療機関等に勤務する人数	4人 (2014)	12人 (累計)	6人 (2015～2018累計)	6人	
(4)-③市民の健康増進の支援	胃がん検診受診者数／ 大腸がん検診受診者数	904人／ 1,945人 (2014)	1,480人／ 2,070人 (2019)	545人／ 1,928人 (2018)	1,480人／ 2,070人	

○達成状況の表の色付けした指標については、他の指標と比較して、基本目標3の数値目標（30代の社会移動）の達成との関係性が薄いと考えられることから、他の指標や関連する事業の設定の検討が求められます。

○なお、設定された各KPIは、基本目標2のKPIと同様に、基本目標2の数値目標（20代の社会移動）と基本目標3の数値目標（30代の社会移動）双方に関係していると考えられます。

○社会移動に関する様々な施策や事業の対象を、20代・30代に分けて実施することは困難であるとともに、非合理的であると考えられる中で、次期戦略においては、基本目標の数値目標の指標の変更についても検討が必要と考えられます。

【基本目標の数値目標の継続を前提とした新たなKPIの例】

◇各指標の年齢層を明確化した、「30代の住宅支援補助件数」「30代の相談窓口を通じた移住者数」等

(4) 基本目標4（多種多様で魅力的な“地域（じげ）”を形成する）のKPI 達成見込み

○基本目標4の7のKPIのうち、達成見込の指標は1つ（14.3%）となっています。

○基本目標4の数値目標（安来市への愛着度）の実績は目標値・基準値ともに下回っており、ほとんどのKPIが未達成となる見込みであることと、連動した結果であると考えられます。

基本目標4のKPIの達成状況

施 策	指 標	基準値	目標値	実績値	参考：目標達成に必要な2019年値	達成見込
(1)-①地域コミュニティの担い手の確保・育成	地域おこし協力隊制度による移住者（家族含む）	-	12人 （累計）	11人 （2015～2018累計）	1人	○
(1)-②農林業の担い手の確保・育成	新規就農者数	11人 （2008～2014）	20人 （累計）	9人 （2015～2018累計）	11人	
	新規林業従事者数	3人 （2014）	15人 （累計）	7人 （2015～2018累計）	8人	
(2)地域の拠点づくり	地域ビジョンの作成地域数	5箇所 （2015）	24箇所 （累計）	8箇所 （2015～2018累計）	16箇所	
	集落支援員の配置	-	16人 （2019）	3人 （2018）	16人	
(3)-①公共交通の充実	イエローバス利用者数	36万人 （2014）	36万人 （平均）	324,128人 （2015～2018平均）	503,490人	
(3)-②道路ネットワークの整備	道路改良延長	-	13.0km （累計）	5.44km （2015～2018累計）	7.56km	

○未達成の見込みのKPIについては、目標値や、目標達成のための事業内容等の見直しが求められます。

○達成状況の表の色付けした指標については、他の指標と比較して、基本目標4の数値目標（安来市への愛着度）の達成との関係性が薄いと考えられることから、他の指標や関連する事業の設定の検討が求められます。

【基本目標の数値目標の継続を前提とした新たなKPIの例】

◇「1千人当たり医師数」「1万人当たり出火件数」「1万人当たり交通事故件数」「ふるさと教育関連事業数」等

【安来市】市民アンケート（H30）結果からみる特徴と課題

◇安来市への愛着度と定住意向【問2・3】

★性別では、愛着度・定住意向ともに、男性より女性が低い実態

⇒少子化対策の視点からも、女性の就労環境や子育て環境の整備、男女共同参画を進めるなど、女性が暮らしやすいまちづくりの推進が必要。

★年齢別では、愛着度・定住意向ともに、他の年齢層と比較して30・40代が低い実態

⇒30・40代の愛着度・定住意向の向上に向けては、就業・結婚・子育てなどのライフイベントに関わる支援のさらなる充実が必要と考えられる。

★地域別では、愛着度・定住意向ともに、他の地域と比較して伯太中校区が極端に低い実態

⇒伯太中校区における安来市の各環境に対する満足度についてみると、全体と比較して「買物（商店・スーパーなど）の便利さ」「公園・スポーツ施設の充実度」「農林業の振興」が特に低くなっており、こうした項目で他の地域との格差が生じていると考えられる。とりわけ「買物（商店・スーパーなど）の便利さ」については、重要度が特に高い項目であり、対応の検討が求められる。

◇安来市の各環境に対する満足度・重要度【問4】

★満足度については、「自然環境の豊かさ」「自然環境の保全」「景観の美しさ」「ごみ処理・リサイクルの対策」等の環境に関する内容、「上水道の整備」「下水道の整備」といった水に関する内容が他の項目と比べて特に高い。自由意見においても、「自然環境が良い」といった意見が多くみられる。

⇒2015年に国際連盟で採択され、国の総合戦略のメニューにも挙がっているSDGsなど、持続可能なまちづくりが求められている中で、こうした点を本市の強みとして活用していく視点の検討が求められる。

★満足度と重要度の相関（優先度）をみると、「医療体制の充実」「買物（商店・スーパーなど）の便利さ」「災害への対策」「道路網の充実」「公共交通機関の便利さ」の5つの項目が特に高い実態

⇒こうした生活環境の整備や利便性向上に向けては、中海圏域等の連携による広域的な取り組みとともに、市内の地域コミュニティや団体との協働による課題解決の取り組みの検討が求められる。

★満足度と重要度の相関（優先度）をみると、上記の5つの項目に次いで、「就業の場や機会の充実」が高い実態

⇒「就業の場や機会」の創出は、安来市の総合戦略においても一つの柱になっており、若者を中心とした人口減少対策、移住・定住促進の観点からも、さらなる取り組みが求められる。

◇回答者自身のことについて【問5－（1）】

★健康づくりやスポーツについて、性別では男性、年齢別では30・40代の取り組んでいる割合が低い実態

⇒1億総活躍社会の実現に向けて、高齢化が進む本市においても、高齢になってもだれもが元気に様々な活動に参加していくことが求められる。そうした中で、健康寿命の延伸という観点からも、若いうちからの健康づくり等が求められる。

★公共の交通機関の利用状況は、全体の“利用している”割合が1割程度であり、60代・70代以上においても概ね同様の割合

⇒高齢者による交通事故や、免許の返納時期が社会問題化する中で、本市においても総合的な公共交通体系の構築を図るなど、さらなる利便性の向上を検討し、公共交通の利用を促進することが必要。

★災害時の避難場所を3割程度が知らない、災害時の持ち出し品等の準備を5割以上がしていない実態。

⇒満足度と重要度の相関（優先度）として、とりわけ「災害への対策」が求められている一方で、市民の認識や意識が不十分な実態。とりわけ10～30代でそうした傾向が顕著であり、世代に応じた情報発信や啓発、支援等が求められる。

★市に関する情報収集の手段は年齢が高いほど広報誌の割合が、年齢が低いほどホームページの割合が高い実態。

⇒災害に関する情報発信も含め、各世代に対応した発信ツールの活用が求められる。

◇仕事について【問5－（2）】

★仕事と生活の両立が「できていると思わない」割合は、他の年齢層と比較して、30・40代で高い実態。

⇒30・40代は、乳幼児の子育てに関わる世代である中で、こうした世代に対しては、仕事と生活の両立に向けた支援が特に必要と考えられる。

◇地域との関りについて【問5－（3）】

★地域の行事への参加、地域における活躍の場の有無は、ともに年齢が上がるほど、「参加している」「場がある」割合が高くなる実態。

⇒地域のつながりの希薄化、様々な地域活動の担い手・後継者不足が全国的にも問題となっている中で、地域共生社会の実現という観点からも、多様な世代が地域の活動に参加しやすい機会づくりが求められる。

★自慢したい地域の風景や名所が「ない」という回答が4割程度。

⇒国の総合戦略の策定方針において、インバウンド需要をはじめとした観光促進や、関係人口の拡大といった方向性が示されている中で、安来市においてそうした取り組みを進めるためには、まずは住民が地域の良さを認識することが重要であり、地域資源の掘り起こしとともに、住民の認識につながる取り組みの検討が必要。

★地域活動やボランティア活動を「している」女性が2割程度である一方、そうした活動を「してみたい」と回答した女性が4割弱いる実態。

⇒一億総活躍社会の中で、とりわけ女性の活躍が期待される中で、活動をしたいと考える女性と、実際の活動の場や団体とをつなぐ仕組みの検討が必要。

◇住まいの地域について【問5－（4）】

★住んでいる地域が災害に対して安全かは、年齢が高いほど「安全だと思う」割合が高くなる傾向。

⇒前述の設問で、10～30代は災害時の避難場所を知らないなど、災害に関する認識や備えが不十分であるという傾向もみられる中で、若い世代を中心に情報発信・啓発等が求められる。

★住んでいる地域が買い物や通院に便利かは、“安来一中校区”で5割以上が「便利」と回答している一方で、“安来二中校区”“伯太中校区”では「便利」の回答が1割未満という実態。

⇒前述の設問で、買い物等の利便性が安来市への愛着度・定住意向に関わっていると考えられる中で、地域の格差の解消に向けた検討が求められる。

◇地域整備について【問5－（4）】

★「地域開発は現在の各市街地にコンパクトに集約化し、自然環境との調和を図る」の回答が3割以上、「地域振興を優先し、積極的に地域開発を進める」が3割弱と、全体的になんらかの形で開発が望まれる実態。

⇒国が示すコンパクトシティなどの考え方も踏まえつつ、地域の実態にあった開発の方向性を検討することが必要。

第2次安来市総合計画（前期基本計画）の評価まとめ

1. 評価方法

総合計画（前期基本計画）の構造を踏まえ、各節に設定している目標指標の達成状況を評価するとともに、各節に位置付ける施策の取組状況について担当各課による進捗度評価を行い、その積み上げにより計画全体の評価を行います。

A 目標指標の達成度評価

※各節に設定された指標ごとの数値
目標の達成状況をみる定量的評価



B 計画の進捗度評価

※各節に位置付けられた施策に対する取組状況を踏まえた定性的評価

【参考】第2次安来市総合計画（前期基本計画）の構造

章 (7)	節 (30)	主な施策 (98)	目標指標 (124)
第1章 保健・医療・福祉分野	第1節 市民の健康づくりの推進	4	7
	第2節 地域福祉の充実	2	3
	第3節 高齢者福祉の充実	4	4
	第4節 障がい者福祉の充実	2	2
	第5節 社会保障の充実	1	5
第2章 子育て・教育・文化分野	第1節 結婚・出産・子育て支援の充実	2	11
	第2節 学校教育の充実	6	3
	第3節 生涯学習の推進	3	3
	第4節 青少年の健全育成	2	-
	第5節 スポーツ活動の推進	4	2
	第6節 文化・芸術活動の推進	3	5
	第7節 国際交流の推進	3	5
第3章 防災・防犯分野	第1節 消防・防災対策の充実	5	5
	第2節 交通安全・防犯の充実	2	3
	第3節 消費者対策の充実	1	1
第4章 産業・観光・雇用分野	第1節 農林水産業の振興	10	11
	第2節 商工業の振興	3	6
	第3節 観光の振興	4	2
第5章 都市基盤・生活分野	第1節 道路・交通網の充実	3	3
	第2節 住環境の整備	5	4
	第3節 公園・緑地の整備	3	1
	第4節 上・下水道の整備	4	5
	第5節 情報化社会の構築	1	2
第6章 自然・環境保全分野	第1節 自然環境の保全	2	3
	第2節 再生可能エネルギーの利用	2	4
	第3節 循環型社会の形成	2	3
第7章 参画・協働・行財政分野	第1節 参画・協働の推進	2	6
	第2節 地域コミュニティの育成	3	8
	第3節 人権尊重・男女共同参画・平和行政の推進	6	4
	第4節 行政経営の推進	4	3

(1)「A 目標指標の達成度評価」の手法

目標指標の達成度評価に当たっては、計画に設定された 124 の目標指標の達成率について、次の手法により算出・評価を行い、結果をとりまとめます。

＜目標指標の達成度評価の考え方＞				
総合計画においては、各節に次の 2 種類の指標が設定されており、それぞれの指標の性格を踏まえ、達成率の算定方法を設定。				
指標分類	増加・減少目標指標	維持目標指標（および新規目標指標）		
指標説明	現状値（平成 26or27 年度値）より増加、あるいは減少させることを目標とした指標 ＜例＞ 増加目標指標：ボランティア登録者数 減少目標指標：耕作放棄地	基準値（平成 26or27 年度値）より増加、あるいは減少させることに必要性がない、あるいは困難等の判断で、維持・変化抑制を目標とした指標等 ＜例＞ 維持目標指標：公共体育施設利用者数 新規目標指標：道路改良延長（5 年間累計）		
達成率の算定方法	$\frac{(\text{最新実績値 (H30)} - \text{基準値 (H26)})}{(\text{目標値 (H31)} - \text{基準値 (H26)})}$ ※最新実績値の、基準値から目標値までの接近度合いを算出	$\frac{\text{最新実績値 (H29)}}{\text{目標値 (H31)}}$ ※基準値に関わらず、目標値との接近度合いを算出		
※平成 31 年度までが計画期間であるが、各指標の実績値は現時点の最新（平成 30 年度等）の数値を使用する 上記の方法で算定した各指標の達成率について、次の基準で達成状況を分類。 ※両指標に共通。ただし、維持目標指標（および新規目標指標）には「基準値未滿」に該当する達成率は算出されない。 達成見込み：達成率が 100%以上（実績値が目標値を達成している指標） 未達成 <table style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%;"> ◎：達成率が 80%以上、100%未滿 ○：達成率が 50%以上、80%未滿 △：達成率が 0%以上、50%未滿 </td><td style="width: 50%; vertical-align: middle;"> （実績値が目標値に近づいている指標） </td></tr> </table> 基準値未滿：達成率が 0%未滿（実績値が基準値を下回り目標値から遠ざかっている指標）			◎：達成率が 80%以上、100%未滿 ○：達成率が 50%以上、80%未滿 △：達成率が 0%以上、50%未滿	（実績値が目標値に近づいている指標）
◎：達成率が 80%以上、100%未滿 ○：達成率が 50%以上、80%未滿 △：達成率が 0%以上、50%未滿	（実績値が目標値に近づいている指標）			

(2)「B 計画の進捗度評価」の手法

総合計画（前期基本計画）は、「章」 - 「節」 - 「主な施策」といった階層で構成されている。進捗度評価、この最少単位となる主な施策ごとに、次の 3 つの評価基準により点数化を行い、これを積み上げ、平均値を算出することで「主な施策」だけでなく、より上位の階層の「章」や「節」、そして計画全体の進捗度評価を行います。

＜計画の進捗度評価の基準＞	
評価基準	評価点
①計画どおり実施	10
②一部、実施	5
③未実施	0

※計画期間は平成 28～31 年度までであり、あくまで現時点の評価であることに留意
 ※評価が複数課にまたがる場合は、各課の評価を統合し施策ごとに平均値を算出

2. 総合評価

ここでは「A 目標指標の達成度評価」および「B 計画の進捗度評価」の結果から、計画全体の総合評価をとりまとめます。

評価の視点	評価結果
A 目標指標の達成度評価	計画全体の 124 の指標のうち、「達成見込み」が 38 指標 (30.6%)、「未達成」の◎が 12 指標 (9.7%)、○が 11 指標 (8.9%)、△が 17 指標 (13.7%)、「基準値未滿」が 46 指標 (37.1%) ⇒6割程度は目標の達成に向かって進んでいる
B 計画の進捗度評価	計画全体の 98 の主な施策の進捗度評価の平均値は 8.54

計画期間を 1 年以上残している現時点における評価結果としては、進捗度については、概ね計画どおりに進んでいる中で、達成度については、基準値未滿の指標が 4 割程度となっており、進捗度と達成度にやや乖離がみられる状況です。

計画の進捗度評価が高評価（あるいは低評価）であるにも関わらず、目標指標の達成度評価において「基準値未滿」（あるいは「達成見込み」）となっている指標がある節を中心に、次期計画においては、施策・取組と目標指標の設定に当たっては、その関係性を含め改めて精査することが求められます。

【乖離が生じる主な要因】

- ◇数値目標の達成のための施策（事業）の取り組み不足（※目標設定が高すぎる）
- ◇指標と施策（事業）の関連性が薄い
- ◇施策（事業）よりも指標の数値に変化を及ぼす大きな外的要因等がある 等

<「A 目標指標の達成度」と「B 計画の進捗度」の評価に特にギャップがみられる節>

章	節
1	第 1 節 市民の健康づくりの推進 第 3 節 高齢者福祉の充実 第 4 節 障がい者福祉の充実
2	第 2 節 学校教育の充実 第 3 節 生涯学習の推進 第 5 節 スポーツ活動の推進
3	第 2 節 交通安全・防犯の充実 第 3 節 消費者対策の充実
4	—
5	第 3 節 公園・緑地の整備 第 4 節 上・下水道の整備
6	第 1 節 自然環境の保全 第 3 節 循環型社会の形成
7	第 2 節 地域コミュニティの育成 第 3 節 人権尊重・男女共同参画・平和行政の推進

章・節／評価	A 達成度評価					B 進捗度評価				
	達成見込み	未達成			基準値未満	主な施策数	評 価			
		◎	○	△			①計画通り実施	②一部、実施	③未実施	平均値
第1章 保健・医療・福祉分野	4	3	0	3	11	13	9	7	0	7.76
第1節 市民の健康づくりの推進	1	1	0	0	5	4	2	2	0	7.50
第2節 地域福祉の充実	0	0	0	1	2	2	0	2	0	5.00
第3節 高齢者福祉の充実	0	1	0	1	2	4	3	2	0	8.13
第4節 障がい者福祉の充実	0	0	0	1	1	2	2	0	0	10.0
第5節 社会保障の充実	3	1	0	0	1	1	2	1	0	8.33
第2章 子育て・教育・文化分野	8	4	3	4	10	23	22	9	0	8.62
第1節 結婚・出産・子育て支援の充実	3	2	2	1	3	2	3	1	0	9.17
第2節 学校教育の充実	1	0	0	1	1	6	6	1	0	9.58
第3節 生涯学習の推進	1	0	0	0	2	3	3	1	0	8.33
第4節 青少年の健全育成	※現計画に指標なし					2	4	0	0	10.0
第5節 スポーツ活動の推進	0	1	0	0	1	4	4	0	0	10.0
第6節 文化・芸術活動の推進	1	1	0	1	2	3	1	4	0	5.83
第7節 国際交流の推進	2	0	1	1	1	3	1	2	0	6.67
第3章 防災・防犯分野	4	1	1	0	3	8	8	3	0	8.75
第1節 消防・防災対策の充実	4	1	0	0	0	5	4	2	0	8.50
第2節 交通安全・防犯の充実	0	0	1	0	2	2	3	1	0	8.75
第3節 消費者対策の充実	0	0	0	0	1	1	1	0	0	10.0
第4章 産業・観光・雇用分野	10	1	1	3	4	17	16	5	0	8.97
第1節 農林水産業の振興	4	0	1	3	3	10	8	3	0	8.75
第2節 商工業の振興	4	1	0	0	1	3	4	1	0	9.17
第3節 観光の振興	2	0	0	0	0	4	4	1	0	9.38

※評価が複数課にまたがる施策は施策数より評価の数が多い（平均値は各課の評価を統合し、施策ごとに算出）

章・節／評価	A 達成度評価					B 進捗度評価				
	達成見込み	未達成			基準値未満	主な施策数	評 価			
		◎	○	△			①計画通り実施	②一部、実施	③未実施	平均値
第5章 都市基盤・生活分野	1	1	4	4	5	16	13	10	0	7.92
第1節 道路・交通網の充実	0	1	0	1	1	3	1	3	0	6.67
第2節 住環境の整備	0	0	2	2	0	5	3	5	0	6.33
第3節 公園・緑地の整備	0	0	0	0	1	3	4	1	0	9.17
第4節 上・下水道の整備	0	0	2	0	3	4	4	0	0	10.0
第5節 情報化社会の構築	1	0	0	1	0	1	1	1	0	7.50
第6章 自然・環境保全分野	4	0	0	1	5	6	5	1	0	9.17
第1節 自然環境の保全	1	0	0	0	2	2	2	0	0	10.0
第2節 再生可能エネルギーの利用	1	0	0	1	2	2	1	1	0	7.50
第3節 循環型社会の形成	2	0	0	0	1	2	2	0	0	10.0
第7章 参画・協働・行財政分野	7	2	2	2	8	16	19	3	0	8.88
第1節 参画・協働の推進	4	0	0	0	2	2	3	1	0	8.75
第2節 地域コミュニティの育成	1	1	1	2	3	3	3	1	0	9.17
第3節 人権尊重・男女共同参画・平和行政の推進	1	1	0	0	2	6	6	1	0	9.17
第4節 行政経営の推進	1	0	1	0	1	5	7	3	0	6.75
合 計	38	12	11	17	46	99	92	37	2	8.54

※評価が複数課にまたがる施策は施策数より評価の数が多い（平均値は各課の評価を施策ごとに統合し、算出）

※主な施策数の合計が実際（98 施策）より多くなっているが、これは再掲の施策（ふるさと教育を推進する（第2 章章第2・3 節に掲載））があるため

3.「A 目標指標の達成度評価」のまとめ

1 章ごとの指標達成状況

第1章 保健・医療・福祉分野

21の目標指標で、「達成見込み」が4指標（19.0%）、「未達成」の◎が3指標（14.3%）、○が0指標（0.0%）、△が3指標（14.3%）、「基準値未滿」が11指標（52.4%）となっています。

なお、「基準値未滿」が占める割合は、全7章の中で、最も高くなっています。

目標指標		現状値	方向性	めざそう値	
指標の名称	単 位			数 値	年 度
第1節 市民の健康づくりの推進					
☆健康づくりに取り組んでいる人の割合	%	50.0	↑	50.0以上	H31
☆かかりつけの医者がいる人の割合	%	61.7	↑	61.7以上	H31
特定健診を受診する人の割合	%	38.6	↑	50.0	H31
大腸がん検診受診者	人	1,945	↑	2,070	H31
胃がん検診受診者	人	904	↑	1,480	H31
医学生、看護学生奨学制度を活用して市内医療機関等に勤務する人の数（5年間の累計値）	人	4	↑	12	H31
子宮頸がん検診受診者の数（5年間の平均）	人	818	↑	940	H31
第2節 地域福祉の充実					
☆住んでいる地域は高齢者や障がい者にも暮らしやすいと思う人の割合	%	29.6	↑	29.6以上	H31
ボランティア登録数	人	297	↑	372	H31
福祉専門学校就学補助制度を利用した人数（5年間の累計値）	人	－	↑	75	H31
第3節 高齢者福祉の充実					
☆住んでいる地域の高齢者がいきいきと暮らしていると思う人の割合	%	42.6	↑	42.6以上	H31
シルバー人材センターへの加入	人	250	↑	300	H31
安来市老人クラブ連合会への加入	人	3,903	↑	4,200	H31
認知症対応型生活介護（グループホーム）の利用者数	人／月	108	↑	198	H31
第4節 障がい者福祉の充実					
福祉施設の入所者の地域生活への移行	人	76	↑	78	H29
福祉施設利用者の一般就労への移行	人	5	→	5	H29
第5節 社会保障の充実					
特定健診（国民健康保険）受診率	%	38.6	↑	50.0	H31
国民健康保険税収納率（現年度分）	%	95.0	↑	97.0	H31
後期高齢者医療保険料収納率（現年度普通徴収分）	%	98.59	↑	99	H31
就労による生活保護自立世帯数	件	3	↑	5	H31
被保護者世帯の高等学校進学率	%	100	→	100	H31

実績値		達成率	評 価
数 値	年 度		
43.6	H30	-12.8%	基準値未満
61.6	H30	-0.2%	基準値未満
36.7	H29	-16.7%	基準値未満
1,928	H30	-13.6%	基準値未満
545	H30	-62.3%	基準値未満
11	H28～31 累計	87.5%	未達成◎
1,050	H27～30 平均	190.2%	達成見込
6.0	H30	-79.7%	基準値未満
257	H30	-53.3%	基準値未満
22	H28～31 累計	29.3%	未達成△
40.4	H30	-5.2%	基準値未満
290	H30	80.0%	未達成◎
3,079	H30	-277.4%	基準値未満
136	H30	31.1%	未達成△
67	H29	-450.0%	基準値未満
2	H29	40.0%	未達成△
36.7	H29	-16.7%	基準値未満
96.75	H30	87.5%	未達成◎
99.81	H30	297.6%	達成見込
5	H30	100.0%	達成見込
100	H30	100.0%	達成見込

※☆がついている指標は「総合計画アンケート」結果（以降も同様）

第2章 子育て・教育・文化分野

29の目標指標で、「達成見込み」が8指標（27.6%）、「未達成」の◎が4指標（13.8%）、○が3指標（10.3%）、△が4指標（13.8%）、「基準値未滿」が10指標（34.5%）となっています。

目標指標		現状値	方向性	めざそう値	
指標の名称	単 位			数 値	年 度
第1節 結婚・出産・子育て支援の充実					
☆子育てについて地域で支えあう雰囲気があると感じる人の割合	%	34.7	↑	34.7以上	H31
出生数（H27～31平均）	人	267	↑	272	H31
教育・保育施設利用定員数	人	1,450	↑	1,764	H31
子育て支援センター利用者数（0～2歳児）※つどいの広場利用者含む	人／月	607	→	607	H31
ファミリー・サポート・センター利用者数（小学1～6年生）	人／週	12	↑	25	H31
放課後児童クラブ利用者数	人	275	↑	416	H31
放課後児童クラブ数	箇所	11	↑	14	H31
「はぴこ交流サロン」を通じた成婚数	組	0	↑	50	H31
はじめての子育て講座の受講者数	人	41	→	40	H31
一般不妊治療費の助成件数（5年間の平均）	人	54	↑	60	H31
認定こども園移行数	箇所	0	↑	14	-
第2節 学校教育の充実					
未就学児の英語に親しむ活動の実施率	%	0	↑	100	H31
全国学力調査の児童質問紙の回答割合（質問：今住んでいる地域の行事に参加していますか）小学生	%	85.1	↑	90.0	H31
全国学力調査の生徒質問紙の回答割合（質問：今住んでいる地域の行事に参加していますか）中学生	%	54.6	↑	60.0	H31
第3節 生涯学習の推進					
☆目的をもって学んでいるものがある人の割合	%	39.1	↑	39.1以上	H31
☆住んでいる地域の子どもはのびのびと育っていると感じている人の割合	%	62.9	↑	62.9以上	H31
「地域づくり」に関する講座開催数交流センター各館平均	回	1	↑	3	H31
第4節 青少年の健全育成					
※現計画に指標なし					
第5節 スポーツ活動の推進					
☆運動・スポーツを週1回以上行っている人の割合（通勤時の意識的ウォーキングも含む）	%	41.3	↑	41.3以上	H31
公共体育施設利用者数（公園体育施設・社会体育施設）	千人	206.9	→	205.2	H31
第6節 文化・芸術活動の推進					
☆この一年の間に芸術に触れて感動した人の割合	%	48.6	↑	48.6以上	H31
和鋼博物館入場者数	千人	9.0	↑	9.5	H31
歴史資料館入場者数	千人	4.2	↑	4.5	H31
安来市総合文化祭出展・参加者数	人	373	↑	400	H31
安来市美術展出展者数	人	67	↑	80	H31
第7節 国際交流の推進					
青少年海外研修 海外研修	回	0	↑	1	H31
青少年海外研修 海外研修参加者数	人	0	↑	10	H31
青少年海外研修 国内研修（異文化理解交流会）	回	1	→	1	H31
青少年海外研修 国内研修参加者数	人	9	↑	50	H31
安来市と密陽市等との相互訪問	回	4	↑	5	H31

実績値		達成率	評価
数値	年度		
37.0	H30	106.6%	達成見込
248	H28～30平均	-380.0%	基準値未滿
1799	H31	111.1%	達成見込
588	H30	96.9%	未達成◎
6	H30	-46.2%	基準値未滿
362	H30	61.7%	未達成○
13	H30	66.7%	未達成○
11	H31	22.0%	未達成△
45	H30	112.5%	達成見込
44	H28～30平均	-166.7%	基準値未滿
12	H31	85.7%	未達成◎
100	H31	100.0%	達成見込
77.7	H31	-151.0%	基準値未滿
56.9	H31	42.6%	未達成△
35.8	H30	-8.4%	基準値未滿
60.3	H30	-4.1%	基準値未滿
3	H30	100.0%	達成見込
※現計画に指標なし			
33.5	H30	-18.9%	基準値未滿
176.0	H30	85.8%	未達成◎
42.5	H30	-12.6%	基準値未滿
9.1	H30	20.0%	未達成△
5.6	H30	466.7%	達成見込
366	H30	-25.9%	基準値未滿
79	H30	92.3%	未達成◎
1	H30	100.0%	達成見込
6	H30	60.0%	未達成○
0	H30	0.0%	未達成△
0	H30	-22.0%	基準値未滿
5	H30	100.0%	達成見込

第3章 防災・防犯分野

9の目標指標のうち、「達成見込み」が4指標（44.4%）、「未達成」の◎が1指標（11.1%）、○が1指標（11.1%）、△が0指標（0.0%）、「基準値未満」が3指標（33.3%）となっています。

なお、「達成見込み」が占める割合は、全7章の中で第4章に次いで高くなっています。

目標指標		現状値	方向性	めざそう値	
指標の名称	単 位			数 値	年 度
第 1 節 消防・防災対策の充実					
☆災害時の避難場所を知っている人の割合	%	56.9	↑	56.9以上	H31
☆災害時の備蓄品、持ち出しものを準備している人の割合	%	35.4	↑	35.4以上	H31
自主防災組織数	組織	35	↑	45	H31
消防団員数	人	720	→	720	H31
応急手当の実施率	%	47	↑	50	H31
第 2 節 交通安全・防犯の充実					
☆住んでいる地域で登下校時の見守り・パトロールや街灯整備等の安全・安心を守る取り組みが行われていると答えた人の割合	%	65.1	↑	65.1以上	H31
防犯カメラ設置数	台	58	↑	70	H31
交通死亡事故発生件数	件	1	↓	0	H31
第 3 節 消費者対策の充実					
消費者講座等の実施件数	件	9	↑	20	H31

実績値		達成率	評 価
数 値	年 度		
64.2	H30	112.8%	達成見込
36.9	H30	104.2%	達成見込
45	H30	100.0%	達成見込
693	H31	96.3%	未達成◎
77.6	H30	1020.0%	達成見込
61.0	H30	-6.3%	基準値未満
67	R 1	75.0%	未達成○
3	H30	-200.0%	基準値未満
7	H30	-18.2%	基準値未満

第4章 産業・観光・雇用分野

19の目標指標のうち、「達成見込み」が10指標（52.6%）、「未達成」の◎が1指標（5.3%）、○が1指標（5.3%）、△が3指標（15.8%）、「基準値未滿」が4指標（21.1%）となっています。

なお、「達成見込み」が占める割合は、全7章の中で、最も高くなっています。

目標指標		現状値	方向性	めざそう値	
指標の名称	単 位			数 値	年 度
第1節 農林水産業の振興					
☆地元や県内でとれた農水産物を買っている人の割合	%	68.4	↑	68.4以上	H31
集落営農組織	組織	49	↑	59	H31
新規就農者（5年間の累計）	人	11	↑	20	H31
認定農業者	組織	102	↑	121	H31
新規林業従事者数（5年間の累計）	人	3	↑	15	H31
環境直払対象農地面積	ha	37	↑	40	H31
荒廃農地（A分類）面積	ha	63	↓	62	H31
林道の整備延長	m	30,712	↑	31,355	H31
肉用牛飼育頭数	頭	1,339	↑	1,400	H31
有害鳥獣（イノシシ）駆除実績	頭	616	↑	700	H31
ほ場整備率	%	56.5	↑	63.0	H31
第2節 商工業の振興					
企業誘致及び立地促進による新規雇用者数（5年間の累計）	名	41	↑	100	H31
新技術等の開発や取引拡大の支援件数（5年間の累計）	件	4	↑	30	H31
ふるさと寄附の返礼品目数	品名	41	↑	70	H31
支援事業を通じた新規創業件数（5年間の累計）	件	0	↑	25	H31
求職・求人ポータルサイト「中海圏域就職ナビ」「中海圏域ワークネット」など登録事業所数	社	32	↑	100	H31
事業を利用した空き店舗への出店数（5年間の累計）	件	2	↑	10	H31
第3節 観光の振興					
観光入込客数（5年間の平均）	万人	140.5	↑	145	H31
宿泊者数	人	31,021	↑	34,300	H31

実績値		達成率	評 価
数 値	年 度		
58.5	H30	-14.5%	基準値未滿
61	H30	120.0%	達成見込
18	H30まで累計	77.8%	未達成○
99	H30	-15.8%	基準値未滿
7	H30まで累計	33.3%	未達成△
63	H30	866.7%	達成見込
32	H30	3100.0%	達成見込
30,712	H30	0.0%	未達成△
878	H30	-755.7%	基準値未滿
1,017	H30	477.4%	達成見込
59.1	H30	40.0%	未達成△
315	H28～30累計	464.4%	達成見込
19	H28～30累計	57.7%	未達成◎
181	H31	482.8%	達成見込
48	H30	192.0%	達成見込
2	H31	-44.1%	基準値未滿
11	H28～30累計	112.5%	達成見込
152.2	H28～30平均	260.0%	達成見込
35,417	H30	134.1%	達成見込

第5章 都市基盤・生活分野

15 の目標指標のうち、「達成見込み」が 1 指標（6.7%）、「未達成」の◎が 1 指標（6.7%）、○が 4 指標（26.7%）、△が 4 指標（26.7%）、「基準値未満」が 5 指標（33.3%）となっています。

目標指標		現状値	方向性	めざそう値	
指標の名称	単 位			数 値	年 度
第1節 道路・交通網の充実					
☆住んでいる地域は買い物や通院に便利 だと思う人の割合	%	36.2	↑	36.2以上	H31
広域生活バスの乗車人数年間累計数（5 年間の平均）	万人	36	→	36	H31
道路改良延長（5年間の累計）	Km	－	↑	13	H31
第2節 住環境の整備					
耐震診断及び耐震改修の助成を行った木 造住宅の累積件数（5年間の累計）	件	31	↑	40	H31
公営住宅の一定のバリアフリー整備率	%	30	↑	40	H31
住宅支援の補助件数（5年間の累計）	件	3	↑	550	H31
空き家バンク登録住宅の活用件数 （5年間の累計）	件	12	↑	50	H31
第3節 公園・緑地の整備					
☆公園・スポーツ施設（身近な公園・広 場・緑地・運動場など）の満足度	%	21.2	↑	21.2以上	H31
第4節 上・下水道の整備					
☆水を大切に使用している人の割合	%	77.0	↑	77.0以上	H31
下水道使用料収納率	%	96.6	↑	97.0	H31
下水道負担金収納率	%	79.9	↑	82.0	H31
下水道接続率	%	85.7	↑	88.0	H31
汚水処理施設普及率	%	85.4	↑	90.0	H31
第5節 情報化社会の構築					
電子申請システム手続き項目数	項目	16	↑	50	H31
告知放送普及率	%	83.5	↑	84.9	H31

実績値		達成率	評 価
数 値	年 度		
33.3	H30	-8.0%	基準値未満
32.1	H28～30 平均	89.2%	未達成◎
4.55	H28～30 累計	35.0%	未達成△
38	H31まで 累計	77.8%	未達成○
30	H31	0.0%	未達成△
372	H28～31 累計	67.5%	未達成○
21	H28～31 累計	23.7%	未達成△
18.7	H30	-11.8%	基準値未満
75.7	H30	-1.7%	基準値未満
96	H30	-150.0%	基準値未満
75.6	H30	-204.8%	基準値未満
87.4	H30	73.9%	未達成○
88.9	H30	76.1%	未達成○
16	H30	0.0%	未達成△
84.9	H30	100.0%	達成見込

第6章 自然・環境保全分野

10の目標指標のうち、「達成見込み」が4指標（40.0%）、「未達成」の◎が0指標（0.0%）、○が0指標（0.0%）、△が1指標（10.0%）、「基準値未満」が5指標（50.0%）となっています。

なお、「基準値未満」が占める割合は、全7章の中で第1章に次いで、高くなっています。

目標指標		現状値	方向性	めざそう値	
指標の名称	単 位			数 値	年 度
第1節 自然環境の保全					
☆山・川を守るための取り組みに協力した人の割合	%	70.2	↑	70.2以上	H31
☆住んでいる地域の自然環境は守られていると思う人の割合	%	66.0	↑	66.0以上	H31
COD	m g/L	5.6	↓	5.1	H31
第2節 再生可能エネルギーの利用					
☆電気の無駄遣いを気にかけるなど環境に配慮している人の割合	%	85.8	↑	85.8以上	H31
☆製品を購入する際に環境に配慮したものを選ぶ人の割合	%	57.3	↑	57.3以上	H31
市内温室効果ガス排出量削減（1990年基準比）	%	0	↑	12	H31
再生可能エネルギーの発電設備を付設した公共施設数（累計）	施設	19	↑	23	H31
第3節 循環型社会の形成					
☆ごみの分別やリサイクルに協力している人の割合	%	92.2	↑	92.2以上	H31
ごみ排出量の削減 県内平均値 948g/人日（H25）	g/人日	741	↓	730.0	H31
リサイクル率の向上 県内平均値 25.2%（H25）	%	26.3	↑	28.0	H31

実績値		達成率	評 価
数 値	年 度		
62.1	H30	-11.5%	基準値未満
63.3	H30	-4.1%	基準値未満
4.4	H30	240.0%	達成見込
80.8	H30	-5.8%	基準値未満
55.8	H30	-2.6%	基準値未満
5.5	H28	45.8%	未達成△
23	H30	100.0%	達成見込
92.7	H30	100.5%	達成見込
728	H30	118.2%	達成見込
21.3	H30	-294.1%	基準値未満

第7章 参画・協働・行財政分野

21の目標指標のうち、「達成見込み」が7指標（33.3%）、「未達成」の◎が2指標（9.5%）、○が2指標（9.5%）、△が2指標（9.5%）、「基準値未満」が8指標（38.1%）となっています。

目標指標		現状値	方向性	めざそう値	
指標の名称	単 位			数 値	年 度
第1節 参画・協働の推進					
☆地域活動やボランティア活動をしている人の割合	%	30.6	↑	30.6以上	H31
☆地域活動やボランティアなどで社会のために活動してみたい人の割合	%	41.5	↑	41.5以上	H31
出前講座の実施回数	回	30	→	30	H31
出前講座の参加者数	人	800	↑	1,000	H31
ワークショップ等の実施回数	回	6	↑	10	H31
ワークショップ等の参加者数	人	156	↑	200	H31
第2節 地域コミュニティの育成					
☆地域の行事によく参加する人の割合	%	53.7	↑	53.7以上	H31
☆地域に自分の活躍の場がある人の割合	%	29.7	↑	29.7以上	H31
☆地域内の異なる世代の人とつきあいがあ る人の割合	%	49.5	↑	49.5以上	H31
自治会加入率	%	85.42	→	85.42	H31
地域おこし協力隊制度による移住者	人	－	↑	12	H31
地域ビジョンの作成地域数 （5年間累計）	地域	5	↑	24	
集落支援員の配置	人	－	↑	16	H31
「地域づくり」に関する講座開催数 （交流センター各館平均）	回	1	↑	3	H31
第3節 人権尊重・男女共同参画・平和行政の推進					
男女共同参画の視点に立った学習会等 を開催している地域自主組織	組織	－	↑	24	H31
男女共同参画に関する講座等の実施回数	回	26	↑	30	H31
市の審議会等への女性の参画率	%	22.6	↑	40.0	H31
「生活自立支援のための講座」等を開 催している地域自主組織	組織	6	↑	8.0	H31
第4節 行政経営の推進					
☆住民参加（広報・広聴活動、参加機 会）の満足度	%	15.9	↑	15.9以上	H31
相談窓口を通じた移住者数	人	28	↑	126	毎年
市税収納率	%	98.96	→	99.0	H31

実績値		達成率	評 価
数 値	年 度		
25.3	H30	-17.3%	基準値未満
35.1	H30	-15.4%	基準値未満
50	H30	166.7%	達成見込
1,471	H30	335.5%	達成見込
21	H30	375.0%	達成見込
553	H30	902.3%	達成見込
49.7	H30	-7.4%	基準値未満
24.7	H30	-16.8%	基準値未満
45.9	H30	-7.3%	基準値未満
82.32	H31	96.4%	未達成◎
7	H30	58.3%	未達成○
8	H28～30 累計	15.8%	未達成△
3	H30	18.8%	未達成△
3	H30	100.0%	達成見込
23	H31	95.8%	未達成◎
21	H31	-125.0%	基準値未満
19.1	H31	-20.1%	基準値未満
11	H31	250.0%	達成見込
15.8	H30	-0.6%	基準値未満
86	H27～31 平均	59.2%	未達成○
99.44	H30	100.5%	達成見込

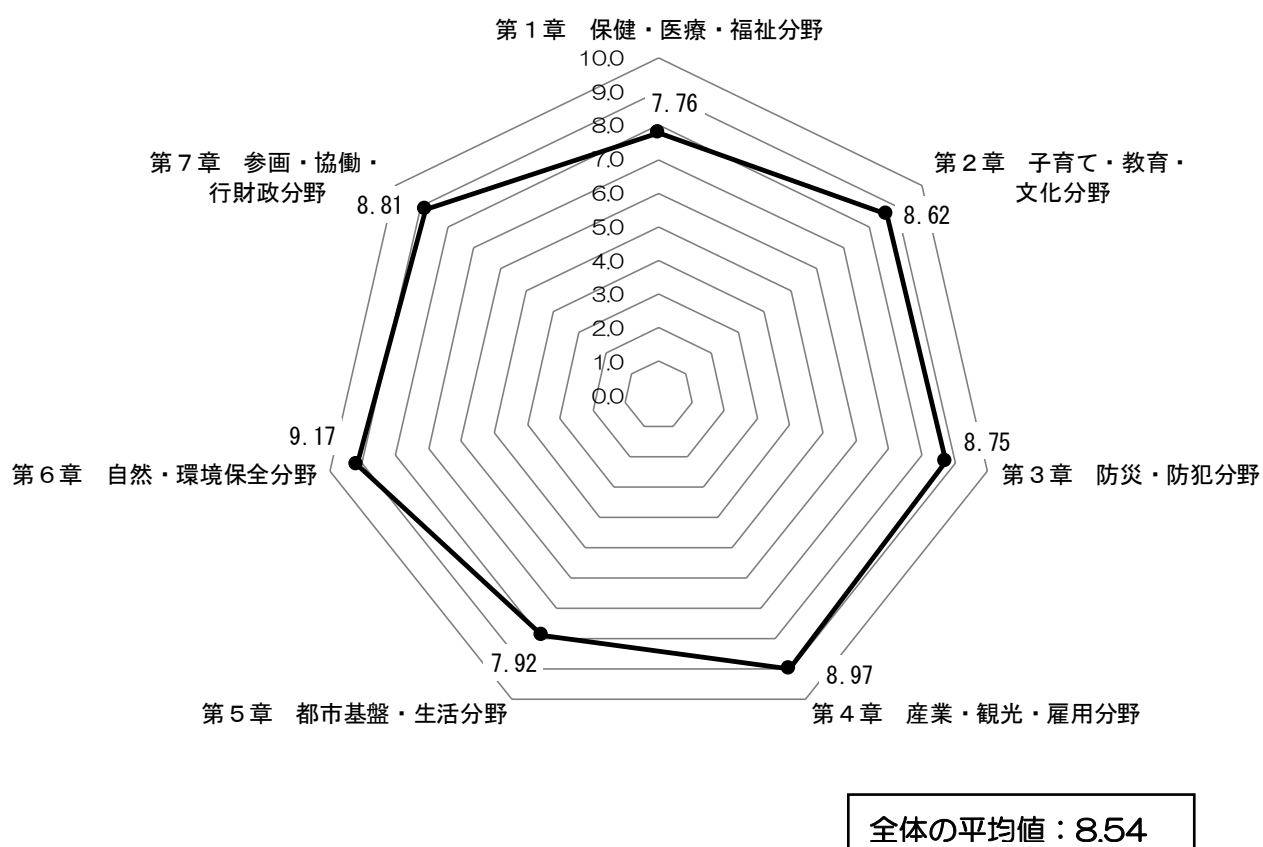
4. 「B 計画の進捗度評価」のまとめ

1 章ごとの進捗度評価

章ごとの評価としては、「第6章 自然・環境保全分野」の平均値が9.17と最も良い評価となっており、その他に「第3章 防災・防犯分野」「第4章 産業・観光・雇用分野」「第7章 参画・協働・行財政分野」が全体の平均値を上回っています。

一方で、「第1章 保健・医療・福祉分野」の平均値は7.76と最も低い評価となっており、その他に「第2章 子育て・教育・文化分野」「第5章 都市基盤・生活分野」についても全体の平均値を下回っています。

<章ごとの評価>

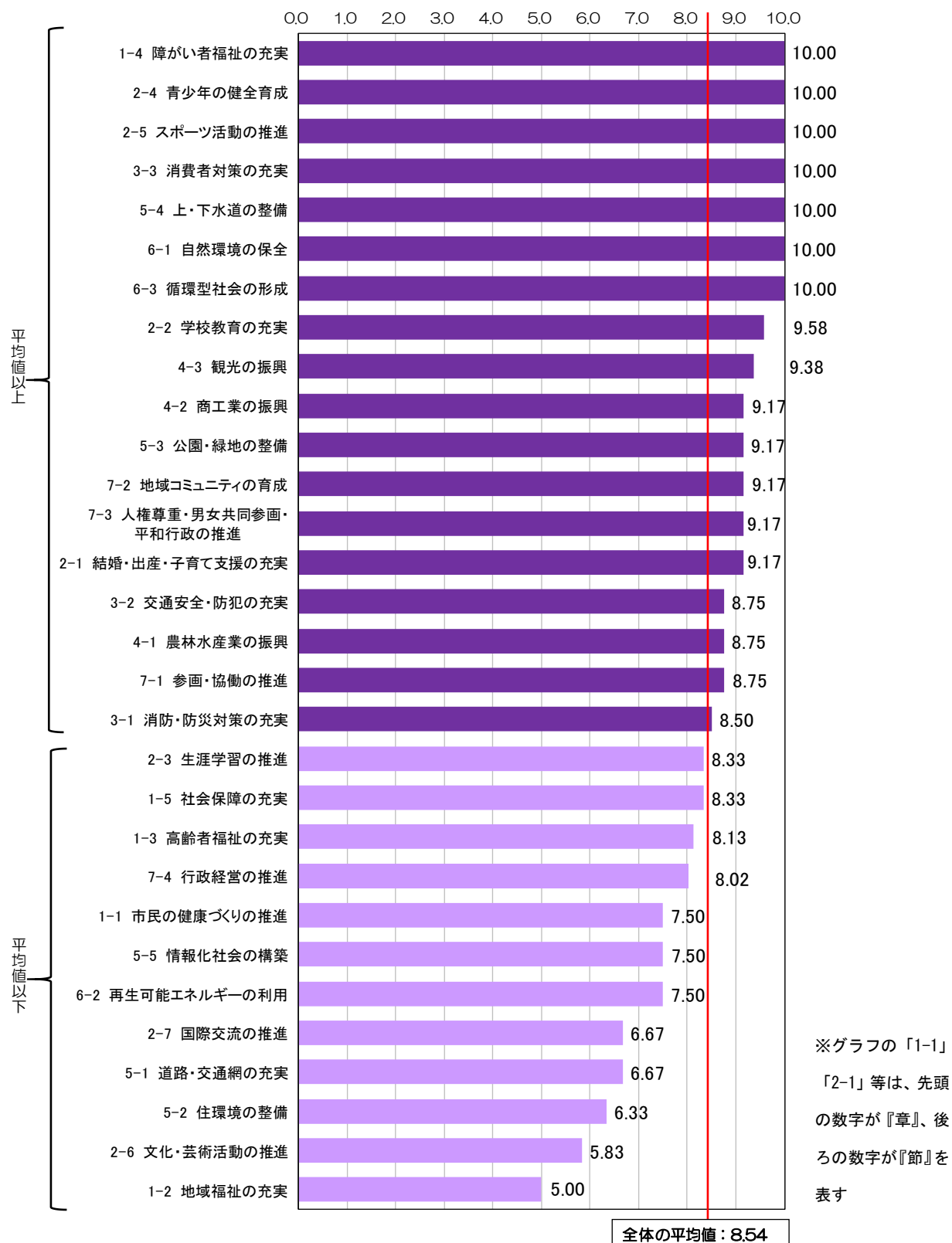


2 節ごとの進捗度評価

節ごとの評価をみると、第1章の「第4節 障がい者福祉の充実」をはじめ、7つの節が10.0と最も良い評価となっている一方で、第1章の「第2節 地域福祉の充実」が平均値5.00で最も良くない評価となっています。

なお、全体の平均値「8.54」を上回っている節が18、下回っている節が12となっています。

<節ごとの評価>



3 理念の枠組みでみる進捗度評価

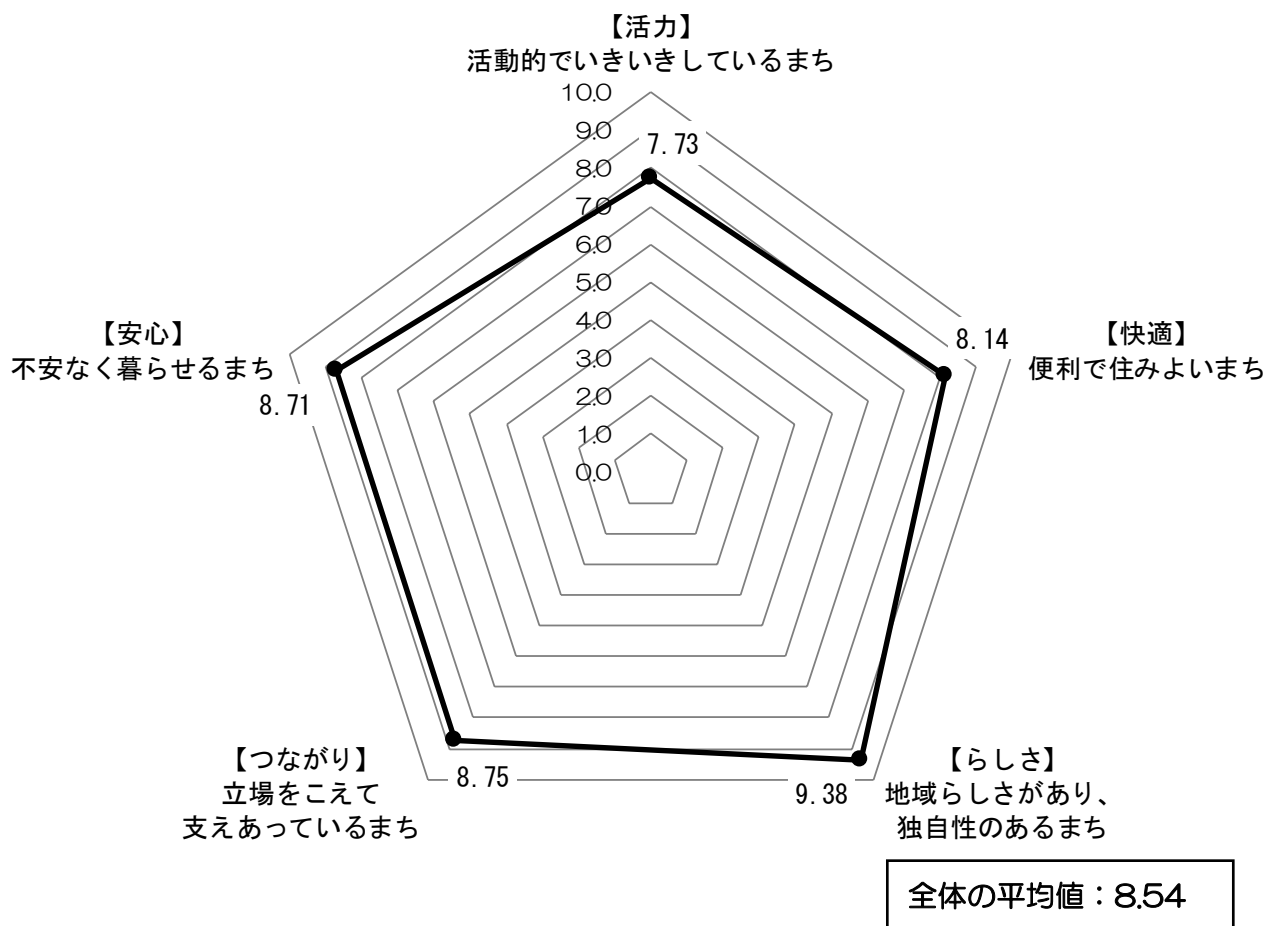
安来市の総合計画においては、98の施策を7つの枠組みで分野ごとに体系化するとともに、「活力」「快適」「らしさ」「つながり」「安心」の5つの理念と、これに紐づく16の政策で体系化しています。

ここでは、5つの理念と、16の政策の枠組みで、進捗度評価を整理します。

理念の枠組みでみる評価としては、「【らしさ】地域らしさがあり、独自性のあるまち」の平均値が9.38と最も良い評価となっており、その他「【つながり】立場をこえて支えあっているまち」「【安心】不安なく暮らせるまち」が全体の平均値を上回っています。

一方で、「【活力】活動的でいきいきしているまち」の平均値は7.73と最も低い評価となっており、その他に「【快適】便利で住みよいまち」についても全体の平均値を下回っています。

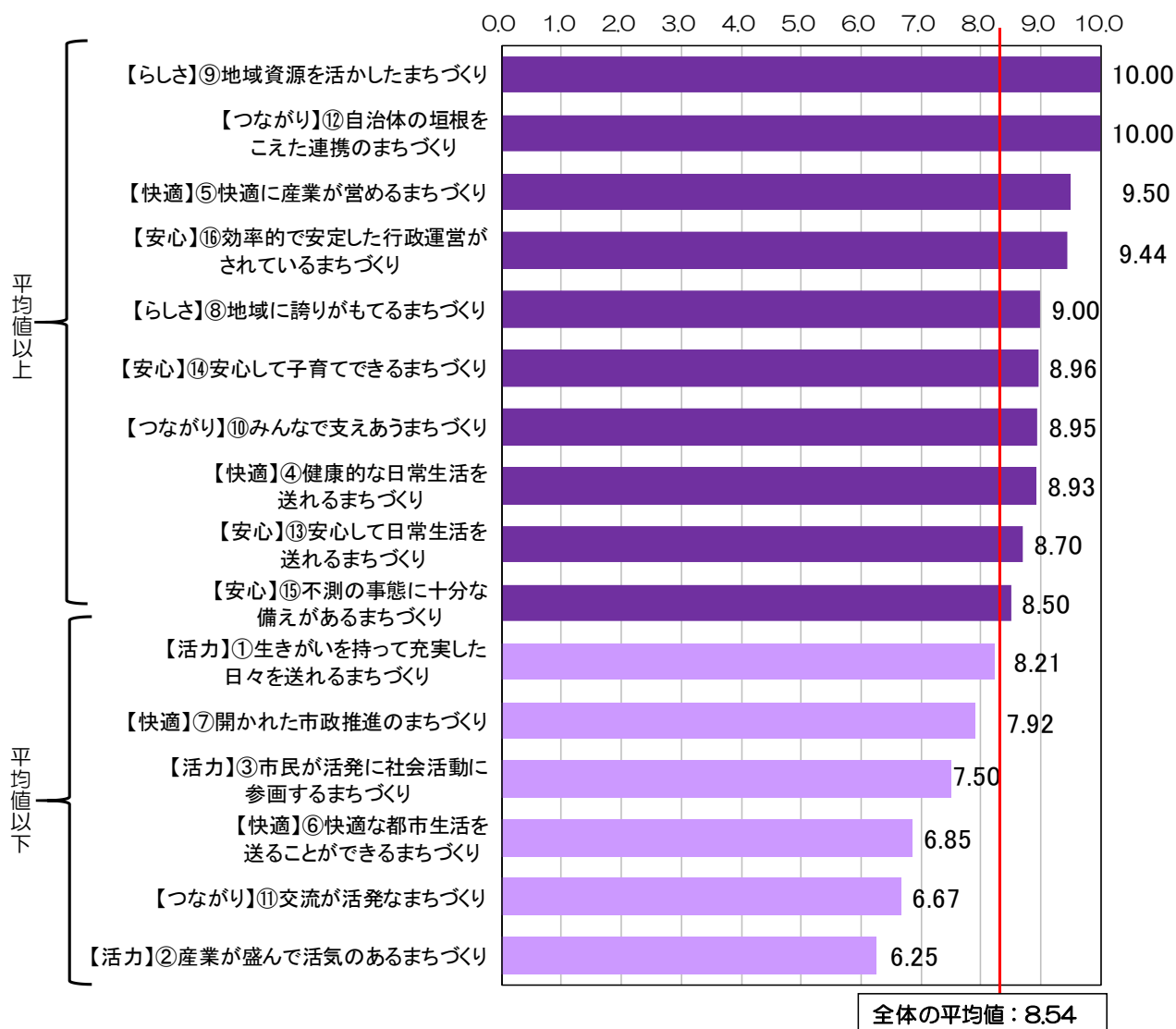
<理念の枠組みでの評価>



政策ごとの評価をみると、【らしさ】の「⑨地域資源を活かしたまちづくり」、【つながり】の「⑫自治体の垣根をこえた連携のまちづくり」の平均値が 10.0 と最も良い評価となっている一方で、【活力】の「②産業が盛んで活気のあるまちづくり」が平均値 6.25 で最も良くない評価となっています。

なお、全体の平均値「8.54」を上回っている政策が 10、下回っている政策が 6 となっています。

<政策の評価>



4 「主な施策」ごとの進捗度評価

章	番 号	方 向	主な施策	評 価
第 1 章 保健・医 療・福祉 分野	1-1	1	健康保持・増進に向けての健康的な生活習慣づくりを支援する	10.00
	1-2	12	病気の有無にかかわらずいきいきと生活できるよう支援する	10.00
	1-3	44	地域ぐるみの健康づくり活動を推進する	5.00
	1-4	68	安心して利用できる医療サービスを提供する	5.00
	2-1	13	利用者の視点に立った福祉サービスを提供する	5.00
	2-2	45	地域福祉活動にかかわる担い手育成とネットワークをつくる	5.00
	3-1	2	高齢者の健康寿命の維持・延伸を目指した支援を拡充する	10.00
	3-2	14	高齢者の移動手段を支援する	7.50
	3-3	46	高齢者の出番をつくる世代間交流を推進する	10.00
	3-4	69	高齢者が安心して暮らせる環境をつくる	5.00
	4-1	15	障がいの有無によらず、幅広い分野で活動できるようにする	10.00
	4-2	70	障がい者が住みたい地域で、安心して生活を営める環境を整える	10.00
	5-1	71	各種の社会保障制度を安定して運営する	8.33
第 2 章 子育て・ 教育・文 化分野	1-1	47	関係機関・団体が情報共有と連携を図り、子育てを支援する	10.00
	1-2	77	安心して結婚し、産み育てる環境をつくる	8.33
	2-1	3	子どもたちが主体的に学べる教育を推進し、学力向上に努める	10.00
	2-2	16	快適な学び環境の充実を図る	10.00
	2-3	36	ふるさと教育を推進する	10.00
	2-4	48	学校、家庭、地域が連携し学びを支える	10.00
	2-5	78	安心して学校生活がおくれる環境を整える	10.00
	2-6	79	豊かな心を育て、心身の健康を大切に教育を推進する	7.50
	3-1	4	生きがいを感じる学習の場を提供する	5.00
	3-2	36	ふるさと教育を推進する	10.00
	3-3	49	社会教育により地域人材を育成する	10.00
	4-1	50	犯罪や非行のない安全で安心な地域社会を築く	10.00
	4-2	80	青少年の健全育成を支援する	10.00
	5-1	5	ライフステージに応じたスポーツ及び運動を推進する	10.00
	5-2	17	安来市のスポーツ文化を支える環境を整備する	10.00
	5-3	37	夢を叶え感動を与える競技スポーツを推進する	10.00
	5-4	63	スポーツ活動による交流・連携を推進する	10.00
	6-1	6	文化・芸術に親しみやすい環境を整備する	7.50
	6-2	38	文化財・伝統文化・伝統芸能の保存・継承活動や活用できる環境を整備する	5.00
	6-3	64	たたら製鉄文化を活かした交流を拡大する	5.00
	7-1	7	国際理解を推進し世界に飛躍する人材を育成する	5.00
	7-2	18	多様な文化を尊重し豊かに暮らせる環境をつくる	10.00
	7-3	65	世界の人々が集いあう環境を整える	5.00
第 3 章 防災・防 犯分野	1-1	66	連携による防災・救急体制を強化する	10.00
	1-2	81	防災・救急体制を充実させる	7.50
	1-3	82	中山間地域の消防水利の確保を推進する	10.00
	1-4	83	消防団組織の充実を図る	10.00
	1-5	84	消防資機材及び施設を充実する	5.00
	2-1	51	行政と地域が互いに連動した交通安全対策を推進する	10.00
	2-2	85	交通事故や犯罪のないまちをつくる	7.50
	3-1	86	悪質商法・詐欺被害のない賢い消費生活を送れるよう支援する	10.00

※表の番号「1-1」「2-1」等は、先頭の数字が『節』、後ろの数字が『主な施策』を表す

※表の方向は、理念に紐づく大綱に施策を振り分ける際の番号を表す

※複数の課が関連する施策については評価を統合している

章	番 号	方 向	施策名	評 価
第 4 章 産業・観光・雇用 分野	1-1	8	主食用米の消費を拡大する	5.00
	1-2	19	生産基盤を強化する	10.00
	1-3	20	健全な森林経営と活力ある林業を確立する	10.00
	1-4	21	森林の持つ公益的機能（水源かん養・地球温暖化防止等）を発揮させる	10.00
	1-5	41	豊かな自然、地域の特性を活かした農林水産業を展開する	10.00
	1-6	52	営農の組織化・農地の利用集積と担い手の育成・確保を推進する	10.00
	1-7	53	地産地消を推進する	5.00
	1-8	54	畜産の生産基盤を強化するとともに、耕畜連携を推進する	10.00
	1-9	87	鳥獣被害対策と耕作放棄地対策を推進する	7.50
	1-10	88	環境にやさしい農業を目指す	10.00
	2-1	9	雇用の機会を拡大する	7.50
	2-2	42	地域資源を活かした企業支援を行う	10.00
	2-3	55	地域と一体となった商業振興を推進する	10.00
	3-1	22	拠点施設を活かした観光を推進する	7.50
	3-2	23	インバウンド対策を推進する	10.00
	3-3	43	観光資源を発掘・磨き上げる	10.00
	3-4	56	地域と一体となった観光振興を推進する	10.00
第 5 章 都市基盤・生活 分野	1-1	24	利便性の高い生活基盤（道路網）の整備を進める	5.00
	1-2	72	公共交通の充実を図り、生活の安心を確保する	10.00
	1-3	89	災害に強い交通施設を整備する	5.00
	2-1	25	バリアフリー化、ユニバーサルデザイン化を推進する	5.00
	2-2	26	定住希望者へ適切な住環境を提供する快適	6.67
	2-3	27	快適な住環境をつくる	5.00
	2-4	90	耐震改修、長寿命化計画を進めストック比率を高める	5.00
	2-5	91	安心な住環境をつくる	10.00
	3-1	28	新たな公園を整備する	7.50
	3-2	92	公園緑地の防災機能を充実させる	10.00
	3-3	93	既存の公園緑地を適切に管理する	10.00
	4-1	29	水質管理を充実・向上させる	10.00
	4-2	94	漏水事故等を減少させる	10.00
	4-3	96	水道事業の効率化など経営を見直す	10.00
	4-4	97	汚水処理施設を普及し、安定稼働と安定経営を行う	10.00
	5-1	30	ITの利活用による地域情報化を推進する	7.50
第 6 章 自然・環境 保全分 野	1-1	39	美しい風土を守り伝える	10.00
	1-2	76	水環境保全を推進する	10.00
	2-1	31	積極的な再生可能エネルギーの利用を推進する	5.00
	2-2	32	省エネ・節電の意識啓発等により自然環境を保全する	10.00
	3-1	57	地域コミュニティと連携したごみ処理を推進する	10.00
	3-2	95	ごみ出しの困難な世帯、不法投棄のないまちをつくる	10.00
第 7 章 参画・協 働・行財 政分野	1-1	33	まちづくりの目標や課題を市民と共有する	10.00
	1-2	58	職員の市民活動への参加を推進する	7.50
	2-1	40	交流センターを中心とした特色ある地域づくりを行う	10.00
	2-2	59	若年世代に魅力的な地域活動推進・交流拠点整備・リーダー育成を行う	7.50
	2-3	60	地域の活動主体（自治会、各種団体）間の連携を図る	10.00
	3-1	10	企画決定への男女共同参画を促進する	5.00
	3-2	61	国際社会の一員としての自覚と多様性を認めあう社会をつくる	10.00
	3-3	62	男女が互いの個性や能力を認めあう家庭・学校・地域・職場をつくる	10.00
	3-4	73	人権尊重、心身の健康づくり、男女間の暴力のない社会をつくる	10.00
	3-5	74	慣行による性別役割分担を見直し、格差を解消する	10.00
	3-6	75	「非核平和都市宣言」に基づき平和行政を推進する	10.00
	4-1	11	市の魅力を広域的にPRする	10.00
	4-2	34	開かれた市政を推進するため、情報収集や情報提供を行う	5.00
	4-3	35	行政サービスを迅速、的確に提供する	8.75
	4-4	67	広域行政を推進する	10.00
	4-5	98	安定的な財政基盤を確立する	8.33